

4年－Unit 1 単元名 Hello, world! 世界のいろいろなことばであいさつをしよう

1. 単元目標

- ・さまざまな挨拶の仕方があることに気付くとともに、さまざまな挨拶の言い方に慣れ親しむ。(知識及び技能)
- ・友達と挨拶をして、自分の好みなどを伝え合う。(思考力・判断力・表現力等)
- ・相手に配慮しながら、友達と挨拶をして、自分の好みなどを伝え合おうとする。(学びに向かう力・人間性等)

2. 言語材料

- Hello. Good [morning / afternoon / night]. I like (strawberries). Goodbye. See you.
- morning, afternoon, night, world

[既出] 挨拶・自己紹介, Do you like (blue)? Yes, I do. / No, I don't. 状態・気持ち, 色, 数 (1~30), 飲食物, 果物・野菜, スポーツ, 動物

3. 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	イ ゆっくりはっきりと話された際に、身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かるようにする。
話すこと (やり取り)	ア 基本的な表現を用いて挨拶, 感謝, 簡単な指示をしたり, それらに応じたりするようにする。

4. 単元計画 (2時間)

時	目標 (◆) と主な活動 (【】, ○) 【】 = 誌面化されている活動	◎評価の観点<方法>
1	<p>◆さまざまな挨拶の仕方があることに気付くとともに、さまざまな挨拶の言い方に慣れ親しむ。</p> <p>○歌 Hello Song (3年 Unit 2)</p> <p>○どんなやりとりをしているのかな?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誌面 p.2, 3 を見て、世界各地の登場人物がどのようなやり取りをしているかを予想する。 <p>【Let's Watch and Think 1】 p.2, 3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映像を見て、世界のいろいろな国の挨拶について、気付いたことを誌面に書き、交流する。 <p>○いろいろな国のことばであいさつをしてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をやりたい国を選び、その国の言葉とジェスチャーを真似て挨拶をし合う。 <p>【Let's Listen 1】 p.2, 3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞いて、どの国の挨拶かを考え、誌面に番号を記入する。 <p>【Let's Play】 p.4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をして互いの好きなものを尋ね合う。 <p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2)</p>	<p>◎さまざまな挨拶の仕方があることに気付いている。〈行動観察・振り返りカード分析〉</p> <p>◎さまざまな挨拶を聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
2	<p>◆相手に配慮しながら、友達と挨拶をして、自分の好みなどを伝え合おうとする。</p> <p>○歌 Hello Song (3年 Unit 2)</p> <p>【Let's Watch and Think 2】 p.4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間や場面に応じた挨拶があることに気付く。 <p>【Let's Listen 2】 p.5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物について、分かったことを口に記入する。 <p>【Activity】 p.5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室内を歩いて、ペアで挨拶し、好きなものやこと、きれいなものやことを伝え合い、相手について分かったことを表に記入する。 <p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2)</p>	<p>◎友達と挨拶をして、自分の好みなどを伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎相手に配慮しながら友達と挨拶をして、自分の好みなどを伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>

4年 Unit 1-Lesson 1 Hello, world! 世界のいろいろなことばであいさつをしよう 1/2時間
目 標 さまざまな挨拶の仕方があることに気付くとともに、さまざまな挨拶の言い方に慣れ親しむ。
準 備 児童用テキスト、教師用カード（国旗）、ワークシート（Unit 1-1）、デジタル教材、振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶をして、個別にも挨拶をする。	
3分	○歌 Hello Song（3年 Unit 2）	・児童と一緒に歌う。	デジタル教材
3分	○どんなやりとりをしているのかな？ ・誌面 p.2, 3 を見て、世界各地の登場人物がどのようなやり取りをしているかを予想する。	・誌面を見せ、挨拶をしている様子であることや、ジェスチャーや各言語の文字の違いに気付くような声かけをする。 （例）中国と日本語は、「。」がついている。アメリカ、ニュージーランドは同じ挨拶。様々な文字がある。アルファベットの文字を使っている国や地域が複数ある、など。	デジタル教材 児童用テキスト
10分	【Let's Watch and Think 1】 p.2, 3 ・映像を見て、世界のいろいろな国の挨拶について、気付いたことを誌面に書き、交流する。 （例）長い挨拶や短い挨拶がある、挨拶の仕方がさまざまなあること、日本と同じようにお辞儀をする挨拶もある、など。	・日本との違いや共通点など、児童の興味関心を高めながら映像資料の視聴につなげる。 ・まず、すでに児童が知っている英語での挨拶（アメリカ）を視聴させ、挨拶の後に名前を言っていることを確認してから、インドネシア、ロシア、サウジアラビアの挨拶を視聴させるとよい。	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード （国旗）
	①（アメリカ） ②（ロシア） ③（サウジアラビア） ④（インドネシア）	クリス : Hello. I'm Chris. メアリー : Hello, I'm Mary. ミハイル : Здравствуйте. (ズドラーストヴィチェ) I'm Mikhail. アンナ : Здравствуйте. (ズドラーストヴィチェ) I'm Anna. アリ : السلام عليكم (アッサラームアレイコム) I'm Ali. シンバ : و عليكم السلام (ワアレイコムッサラーム) I'm Simba. エバ : Selamat siang. (スラマッシアン) I'm Eva. デビ : Selamat siang. (スラマッシアン) I'm Dewi.	
		◎さまざまな挨拶の仕方があることに気付いている。〈行動観察・振り返りカード分析〉	
7分	○いろいろな国のことばであいさつをしてみよう。 ・挨拶をやってみたい国を選び、その国の言葉とジェスチャーを真似て挨拶をし合う。	・ペアで世界の挨拶から1つ選んで、ジェスチャーを交えながら挨拶をさせる。相手を替えてペアを作り、活動を繰り返す。 ◎さまざまな挨拶を聞いたり言ったりしている。 〈行動観察・振り返りカード点検〉	教師用カード （国旗）
6分	【Let's Listen 1】 p.2 ・音声を聞いて、どの国の挨拶かを考え、誌面に番号を記入する。	・前活動で、いろいろな国の言葉で挨拶をしたことを生かして、挨拶の音声のみを聞いて、その挨拶は、アメリカ、インドネシア、ロシア、サウジアラビアのどの国の挨拶かを考えて□に番号を書くように伝える。 ・答え合わせをして、再度 Let's Watch and Think で確認するとよい。	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード （国旗）

		<table border="1"> <tr> <td>No.1</td> <td>クリス</td> <td>: Hello, I'm Chris.</td> </tr> <tr> <td></td> <td>メアリー</td> <td>: Hello, I'm Mary.</td> </tr> <tr> <td>No.2</td> <td>ミハイル</td> <td>: Здравствуйте. I'm Mikhail.</td> </tr> <tr> <td></td> <td>アンナ</td> <td>: Здравствуйте. I'm Anna.</td> </tr> <tr> <td>No.3</td> <td>アリ</td> <td>: السلام عليكم I'm Ali.</td> </tr> <tr> <td></td> <td>シンバ</td> <td>: و عليكم السلام I'm Simba.</td> </tr> <tr> <td>No.4</td> <td>エバ</td> <td>: Selamat siang. I'm Eva.</td> </tr> <tr> <td></td> <td>デビ</td> <td>: Selamat siang. I'm Dewi.</td> </tr> </table>	No.1	クリス	: Hello, I'm Chris.		メアリー	: Hello, I'm Mary.	No.2	ミハイル	: Здравствуйте. I'm Mikhail.		アンナ	: Здравствуйте. I'm Anna.	No.3	アリ	: السلام عليكم I'm Ali.		シンバ	: و عليكم السلام I'm Simba.	No.4	エバ	: Selamat siang. I'm Eva.		デビ	: Selamat siang. I'm Dewi.	
No.1	クリス	: Hello, I'm Chris.																									
	メアリー	: Hello, I'm Mary.																									
No.2	ミハイル	: Здравствуйте. I'm Mikhail.																									
	アンナ	: Здравствуйте. I'm Anna.																									
No.3	アリ	: السلام عليكم I'm Ali.																									
	シンバ	: و عليكم السلام I'm Simba.																									
No.4	エバ	: Selamat siang. I'm Eva.																									
	デビ	: Selamat siang. I'm Dewi.																									
7分	【Let's Play】 p.4 ・挨拶をして互いの好きなものを尋ね合う。	・指導者はまず自分の好きなものを紹介し、それらを好きかどうか数名の児童に尋ね、児童の好きなものを引き出すようにする。 ・数名の児童に好きなものなどを尋ねて I like ~. の表現を思い出させるようにする。 ・教室内を歩いて回り、友達とペアになり挨拶をし、好きなものを伝え合う。	児童用テキスト ワークシート (Unit 1-1)																								
5分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。	・児童の英語を使おうとする態度でよかったところについて称賛する。	振り返りカード																								
2分	○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2) ・挨拶をする。	・児童と一緒に歌う。 ・挨拶をする。	デジタル教材																								

4年 Unit 1-Lesson 2 Hello, world! 世界のいろいろなことばであいさつをしよう 2/2時間
目 標 相手に配慮しながら、友達と挨拶をして、自分の好みなどを伝え合おうとする。
準 備 児童用テキスト、ワークシート (Unit 1-1)、デジタル教材、振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶をして、個別にも挨拶をする。	
1分	○歌 Hello Song (3年 Unit 2)	・児童と一緒に歌う。	デジタル教材
10分	【Let's Watch and Think 2】 p.4 ・時間や場面に応じた挨拶があることに気付く。	・英語でも時間帯によって挨拶の言葉が変わることや、時間帯にかかわらず共通に使える hello や hi があることに気付かせるような声かけをする。 ・場面設定をしたうえで、その場面にふさわしい挨拶を、実際に児童にさせてみる。 ・1日の生活のいろいろな場面の挨拶を出し合い、日本語と英語を比較させる。 ・「いただきます」「ごちそうさま」という自国の文化のよさにも気付かせるようにする。	デジタル教材 児童用テキスト
	No.1 やまと : Good morning, Graham <i>sensei</i> . グラハム : Good morning, Yamato. How are you? やまと : I'm fine, thank you. No.2 ひなた : Good afternoon, Graham <i>sensei</i> . グラハム : Good afternoon, Hinata. ひなた : This is for you. Here you are. グラハム : Me? Wow, thank you very much, Hinata. I'm happy. ひなた : You're welcome. No.3 エミリー : Good night, Mom and Dad. 母 : Good night, Emily. 父 : Have a nice dream.		
10分	【Let's Listen 2】 p.5 ・登場人物を確認する。 ・登場人物について、分かったことを□に記入する。	・まず、誌面にある3人の登場人物の名前を憶えているか尋ね、Let's Try! 1で登場した人物であることを確認する。 ・次に、Let's Try! 1のデジタル教材を見せて、登場人物が自分と同様に3年生の時から成長していることに気付かせ、今年度1年間外国語活動を学習することを意識付けたい。 ・音声聞いて、登場人物の名前、好きなものや好きでないものを□に記入させる。 ・児童の実態に応じて途中で止めるなどして、児童が聞き取れたという自信をもてるようにする。	児童用テキスト デジタル教材
	1 Hi, I'm Takeru. I like strawberries. Ummm, I don't like lemons. See you. 2 Good morning. I'm Sayo. I like basketball. Ummm, I don't like swimming. Goodbye. 3 Good afternoon. I'm Emily. I like red. I don't like green. Bye.		

15分	<p>【Activity】 p.5</p> <p>・教室内を歩いて、ペアで挨拶し、好きなものやこと、きれいなものやことを伝え合い、相手について分かったことを表に記入する。</p> <p>やり取りの例 A: Hi, B. B: Hi, A. A: I like basketball. Do you like basketball? B: Yes, I do. I like basketball. I like swimming, too. Do you like swimming? A: No, I don't. I don't like swimming.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材でモデルの音声を聞かせ、どのようなやり取りをしたらよいか、活動の見通しをもたせる。 ・さらに、指導者が数名の児童とやり取りをし、相手意識をもってやり取りをする大切さに気付かせるようにする。 ・4年生なりに相手の話に耳を傾け、反応すること、相手に伝わっていることを意識して、問いかけたり繰り返したりすることを大切にさせたい。 ◎友達と挨拶をして、自分の好みなどを伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉 ◎相手に配慮しながら友達と挨拶をして、自分の好みなどを伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉 	デジタル教材 児童用テキスト ワークシート (Unit 1-1)
5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の英語を使おうとする態度でよかったところについて称賛する。 	振り返りカード
2分	<p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童と一緒に歌う。 ・挨拶をする。 	デジタル教材

4年－Unit 2 単元名 Let's play cards. すきな遊びをつたえよう

1. 単元目標

- ・世界と日本の遊びの共通点と相違点を通して、多様な考え方があることに気付くとともに、さまざまな動作、遊びや天気の違い、遊びに誘う表現に慣れ親しむ。(知識及び技能)
- ・好きな遊びについて尋ねたり答えたりして伝え合う。(思考力、判断力、表現力等)
- ・相手に配慮しながら、友達を自分の好きな遊びに誘おうとする。(学びに向かう力、人間性等)

2. 言語材料

- How's the weather? It's [sunny / rainy / cloudy / snowy]. Let's (play cards). Yes, let's. Sorry. Stand up. / Sit down. / Stop. / Walk. / Jump. / Run. / Turn around.
- 天気(weather, sunny, rainy, cloudy, snowy), 状態・気持ち(hot, cold), 動作(stand, sit, stop, jump, turn, walk, run, look, put, touch, play), up, down, on, around, left, let's, today, 身体の部位(hand, leg), 遊び(tag, jump rope, bingo, game), outside, inside, 衣類(shirt, shorts, sweater, pants, boots, cap)
[既出] 挨拶・自己紹介, I like (blue). Do you like (blue)? Yes, I do. / No, I don't. What (sport) do you like? 状態・気持ち, how, is, it, right, 身体の部位, 色, スポーツ

3. 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ア ゆっくりはっきりと話された際に、自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句を聞き取るようにする。
話すこと (やり取り)	イ 自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うようにする。

4. 単元計画(4時間)

時	目標(◆)と主な活動(【】、○)【】=誌面化されている活動	◎評価の観点<方法>
1	<p>◆世界と日本の遊びの共通点と相違点を通して、多様な考え方があることに気付くとともに、天気や遊びの言い方を知る。</p> <p>○指導者の質問に答え、天気の違いに出会う。</p> <p>○歌 Hello Song (3年 Unit 2) 【Let's Chant】 How's the weather? p.6</p> <p>○どんな場面かな? ・児童用テキストの誌面 p.6, 7 を見て、日本各地の登場人物が何をしている様子かを考えて答える。</p> <p>【Let's Watch and Think 1】 p.6, 7 ・子供たちの遊びの様子を視聴したり、ALT の話を聞いたりして、自分たちの遊びと世界の子供たちの遊びの共通点や相違点を発表する。</p> <p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2)</p>	◎世界と日本の遊びの共通点と相違点を通して、多様な考え方があることに気付いている。<行動観察・振り返りカード分析>
2	<p>◆遊びや天気の違いに慣れ親しみ、さまざまな動作を表す語句や遊びに誘う表現を知る。</p> <p>○天気について指導者の質問に答える。</p> <p>○歌 Hello Song (3年 Unit 2) 【Let's Chant】 How's the weather? p.6</p> <p>○天気図を作ろう。 【Let's Listen 1】 p.8</p>	◎天気や遊びを聞いて、線で結んでいる。

	<p>・音声を聞いて天気を読み取り，登場人物とイラストを線で結ぶ。</p> <p>○Let's Game</p> <p>・動作を表す語句や体の部位等を表す語に慣れ親しむ。</p> <p>○Let's Sing p.6</p> <p>Rain, rain, go away Eeny, meeny, miny, moe One little finger</p> <p>【Let's Listen 2】 p.8</p> <p>・衣類等の言い方を知る。</p> <p>・音声を聞いて天気と衣類を線で結ぶ。</p> <p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2)</p>	<p><行動観察・記述分析・振り返りカード点検></p>
3	<p>◆天気の違いに慣れ親しむ，好きな遊びについて尋ねたり答えたりして伝え合う。</p> <p>○天気について指導者の質問に答える。</p> <p>【Let's Listen 3】 p.9</p> <p>・国名と天気を聞き取り，□に天気の色を描く。</p> <p>【Let's Watch and Think 2】 p.9</p> <p>・世界のさまざまな天気について分かったことを発表する。</p> <p>○天気に応じた好きな遊びを教える。</p> <p>・ペアになり，天気に応じて好きな遊びを提案したり答えたりして伝え合う。</p> <p>【Let's Chant】 How's the weather? p.6</p> <p>○Let's Sing p.6</p> <p>Rain, rain, go away Eeny, meeny, miny, moe One little finger</p> <p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2)</p>	<p>◎天気を聞いたり言ったりしている。<行動観察・振り返りカード点検></p> <p>◎好きな遊びについて尋ねたり答えたりしている。<行動観察・振り返りカード点検></p>
4	<p>◆相手に配慮しながら，友達を自分の好きな遊びに誘おうとする。</p> <p>○歌 Hello Song (3年 Unit 2)</p> <p>【Let's Chant】 How's the weather? p.6</p> <p>・天気の違いに慣れ親しむ。</p> <p>○Let's Sing p.6</p> <p>Rain, rain, go away Eeny, meeny, miny, moe One little finger</p> <p>【Activity】 p.9</p> <p>・教室内を歩いて回って友達とペアになり，挨拶をし，指導者が指定した天気に応じて，好きな遊びを尋ね，遊びに誘う。</p> <p>・天気に応じて，どんな遊びをしたい友達が何人いたかを表に書く。</p> <p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2)</p>	<p>◎相手に配慮しながら，遊びについて尋ねたり，自分の好きな遊びに誘ったりしている。</p> <p><行動観察・振り返りカード点検></p>

4年 Unit 2-Lesson 1 Let's play cards. すきな遊びをつたえよう 1/4時間
目 標 世界と日本の遊びの共通点と相違点を通して、多様な考え方があることに気付くとともに、天気や遊びの言い方を知る。
準 備 児童用テキスト、教師用カード(天気)、デジタル教材、振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
10分	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 <p>○指導者の質問に答え、天気の言い方に出会う。</p> <p>○歌 Hello Song (3年 Unit 2) 【Let's Chant】How's the weather? p.6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まずチャンツを聞いて、続いて分かるところだけを口ずさむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に挨拶をして、個別にも挨拶をする。 ・窓の外をさして、How is the weather?と尋ね、Sunny? Rainy? Cloudy? Snowy? と言いながらジェスチャーで示すとともに、それらの教師用カードを見せる。 ・児童の答えやつぶやきに応じて、It's sunny / rainy / cloudy / snowy.と紹介する。さらに、Do you like sunny / rainy / cloudy / snowy days?と尋ね、児童に天気の言い方に出会わせるようにする。 ・児童と一緒に歌う。 ・2回ほど聞かせたうえで、次に分かるところだけを口ずさむように言う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>How's the weather? How's the weather? Sunny, sunny. It's sunny. Wow. How's the weather? How's the weather? Rainy, rainy. It's rainy. Oh, no. How's the weather? How's the weather? Cloudy, cloudy. It's cloudy. OK. How's the weather? How's the weather? Snowy, snowy. It's snowy. Yeah. Let's make a snowman.</p> </div>	<p>教師用絵カード (天気)</p> <p>デジタル教材</p>
10分	<p>○どんな場面かな?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童用テキストの誌面 p.6, 7 を見て、日本各地の登場人物が何をしている様子かを考えて答える。 <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の質問に答える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・誌面の登場人物の様子について尋ね、児童の答えやつぶやきを拾いながら、天気や遊びの言い方に何度も触れさせるようにする。その際、デジタル教材の音声(▶のボタン)を聞かせてもよい。 ・登場人物が、それぞれ天気に応じた遊びをしていることに気付かせる。 <p>It's snowy. Let's make a snowman. It's cloudy. Let's play tag. It's rainy. Let's play cards. It's sunny. Let's play dodgeball.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童に遊びについて尋ね、やり取りをし、本単元は遊びについて扱うことを意識させ、次の Let's Watch and Think につなげる。他にどんな遊びがあるかを尋ね、児童のつぶやきを拾いながら、それらについても尋ねるとよい。 <p>Do you like tag / card games / dodgeball / soccer / volleyball / Darumasan-ga-koronda?</p>	<p>デジタル教材 児童用テキスト</p>

19分	<p>【Let's Watch and Think 1】 p.6, 7</p> <p>・子供たちの遊びの様子を視聴したり，ALT の話を聞いたりして，自分たちの遊びと世界の子供たちの遊びの共通点や相違点を発表する。</p> <p><発言例> 天気によって遊びの仕方がいろいろある，雪が多い地域では雪遊びができる，外国でも日本と同じ遊びをする，外国には日本と違う遊びがある，日本には日本でしかない遊びがあるかもしれない，など。</p> <p>※NHK for School 「えいごリアン」では，ブーメラン，カバディの遊びを紹介している。 http://www.nhk.or.jp/eigo/eigorian/?das_id=D0005140183_00000</p>	<p>・子供たちの遊びの映像資料を見せて，天気によってさまざまな遊びをしていることに気付かせる。また，デジタル教材の映像資料を見せた後，ALT がいれば，ALT に母国の小学生の遊びを紹介してもらったり，いなければインターネットで世界の遊びの例を紹介したりして，世界の子供たちの遊びを知らせる。</p> <p>① I'm in Hokkaido. It's snowy. It's very cold. Let's make a snowman! ② Hi, it's cloudy here. Let's play tag in the playground! ③ Oh, it's rainy. Let's play cards in the classroom. ④ Hi, it's sunny here. Let's go outside and play dodgeball. I like dodgeball very much.</p> <p>◎世界と日本の遊びの共通点と相違点を通して，多様な考え方があることに気付いている。〈行動観察・振り返りカード分析〉</p>	デジタル教材 児童用テキスト
5分	・本時の活動を振り返り，振り返りカードに記入する。	・児童の英語を使おうとする態度でよかったところについて称賛する。	振り返りカード
1分	○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2) ・挨拶をする。	・児童と一緒に歌う。 ・挨拶をする。	デジタル教材

4年 Unit 2-Lesson 2 Let's play cards. すきな遊びをつたえよう 2/4時間
目 標 遊びや天気の違いに慣れ親しみ、さまざまな動作を表す語句や遊びに誘う表現を知る。
準 備 児童用テキスト、教師用カード(天気・衣類等)、ワークシート(Unit 2-1~2-4)、デジタル教材、振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
6分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>○天気について指導者の質問に答える。</p> <p>○歌 Hello Song (3年 Unit 2) 【Let's Chant】How's the weather? p.6</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶をして、個別にも挨拶をする。 窓の外をさして、How is the weather? と尋ね、Sunny? Rainy? Cloudy? Snowy? と言いながらジェスチャーで示すとともに、それらの教師用絵カードを見せる。 児童の答えやつぶやきに応じて、It's sunny / rainy / cloudy / snowy. と紹介する。さらに、Do you like sunny / rainy / cloudy / snowy days? と尋ね、児童と天気を話題にやり取りをする。 児童と一緒に歌ったり、チャンツを言ったりする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>How's the weather? How's the weather? Sunny, sunny. It's sunny. Wow. How's the weather? How's the weather? Rainy, rainy. It's rainy. Oh, no. How's the weather? How's the weather? Cloudy, cloudy. It's cloudy. OK. How's the weather? How's the weather? Snowy, snowy. It's snowy. Yeah. Let's make a snowman.</p> </div>	<p>教師用カード (天気)</p> <p>デジタル教材</p>
13分	<p>○天気図を作ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシート (Unit 2-1) の天気カードを切り取っておく。 指導者の言う天気を聞いて、日本地図に天気カードを貼る。 その地域での遊びを提案する。 <p>【Let's Listen 1】 p.8</p> <ul style="list-style-type: none"> 登場人物の名前を確認する。 音声を聞いて天気を聞き取り、登場人物とイラストを線で結ぶ。 それぞれのどのような遊びかを考えて答え、音声を聞いて遊びを確認する。 2人の会話ほどのような場面かを推測する。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートの日本地図で、まず自分たちの学校がある都道府県がどのあたりかを児童と確認したうえで、例のように北海道、四国、九州、沖縄の天気をいう。その際児童に天気を尋ねさせるようにする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>やり取りの例</p> <p>Ss: How's the weather? T: It's snowy in Hokkaido. It's cold. Ss: How's the weather? T: It's rainy in Shikoku. It's not cold. It's not hot. Ss: How's the weather? T: It's cloudy in Kyushu. It's not cold. It's not hot. Ss: How's the weather? T: It's sunny. It's hot.</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 誌面 p.8 を開かせ、3人の登場人物 (No.1 Takeru, No.2 Sayo, No.3 William) の名前を確認する。 音声を聞いて天気と遊びを聞き取るよう言う。 音声は2人の子供のやり取りで、まず天気について言い、その後天気に応じた遊びをしようと提案する内容となっている。そこで、児童の音声を聞く意欲をより高めるために、天気についてやり取りが行われた後、いったん止めて、誌面の3つのどれかを尋ねた 	<p>ワークシート (Unit 2-1)</p> <p>デジタル教材 児童用テキスト</p>

		<p>うえて、そのイラストに示されている遊びは何かを児童に尋ねる。(sunny: dodgeball, cloudy: tag, rainy: card)</p> <p>・音声の続きを聞かせ、みんなで言った遊びが聞こえたかを確認する。また、2人の会話はどのような場面かを推測させ、発表させる。</p> <p>・誌面にある3つの遊びやほかの遊びについて児童とやり取りをする。</p> <p>Do you like 'tag / card games / dodgeball / soccer / volleyball / <i>Darumasan-ga-koronda</i> / <i>Senchosan-ga-iimashita</i>? など</p> <p>・「船長さんが言いました」について尋ね、次の活動につなげる。</p>	
5分	<p>○Let's Game</p> <p>・実際にゲームをしながらルールを知る。</p> <p>・動作を表す語句や体の部位等を表す語に慣れ親しむ。</p>	<p>◎天気や遊びを聞いて、線で結んでいる。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p> <p>・「船長さんが言いました」とよく似た遊びをみんなでやってみようと呼びかける。</p> <p>・実際にゲームを進めながらルールを理解させる。</p> <p>・動作を表す語句や体の部位等を表す語に慣れ親しませるのがねらいで、テンポよく指示を出すことがポイントである。</p> <p>・また、児童が慣れてきたら、言っていることと違う動作をするなど、児童が飽きずに取り組み指示を集中して聞くよう工夫する。</p> <p>・最後に体の部位を取り上げ、(Let's) Touch your eyes / mouth / arm / head / chin / leg / foot. と指示を出し、次の Let's Sing につなげる。ただし、次の Let's Sing は英語のリズムに慣れ親しませることがねらいであり、歌詞にある語句が言えるように慣れ親しませることを求めているわけではない。</p>	

		<p>Let's Game の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Let's を付けたときはその後続く指示どおりの動きをし、 Let's を付けない時は動かないというゲームだが、以下のように進めながら児童がルールを理解できるようにする。 ・ 指導者は動作を付けながら、"Let's stand up / sit down / turn right / jump / walk / run / stop / touch your nose." などと動作を言い、児童に真似て動作をするよう促す。Let's touch your T-shirt / shorts / sweater / pants. などと、衣類の言い方も取り入れる。 ・ 突然、Let's を付けずに動作を言い、間違っで真似た児童に "Oh, no. Sorry." と言って座るよう指示をし、Let's が付くかどうかポイントであることに気付かせるようにする。 ・ 何度も繰り返し動作を付けながら指示を出す。 	
6分	<p>OLet's Sing p.6 Rain, rain, go away Eeny, meeny, miny, moe : 数え歌 One little finger : 歌いながら指示されたものをさし示す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ Let's play more!と、前活動の続きでいろいろな遊びをしようと呼びかけ、Let's Sing を行う。 ・ デジタル教材の画面に示される Let's Sing の歌詞の語句に慣れ親しませることをねらいとしているのではなく、英語のリズムに慣れ親しませることがねらいである。休み時間等に児童が思わずこれらのリズムを口ずさんだりしている様子が見られる程度を目指したい。 ・ 3曲収録されており、児童の実態に応じて選択して歌うとよい。 ・ One little finger は指導者が動作を付けながら歌う、あるいは、ALT 等がいれば実際に歌ってもらったり、ほかの2曲と同様デジタル教材を視聴させたりする。数回聞かせた後、一緒に言えるところだけを言ってみようと呼びかけ、児童も一緒に動作を付けて歌を楽しませる。 	デジタル教材 ワークシート (Unit 2-2 ~ 2-4)
	<p>Rain, rain, go away Rain, rain, go away, come again another day. [My dog / My cat / Little Sayo] wants to play, rain, rain, go away.</p> <p>Eeny, meeny, miny, moe Eeny, meeny, miny, moe, catch a tiger by the toe. If he hollers, let him go. Eeny, meeny, miny, moe.</p> <p>One little finger One little finger, one little finger, one little finger, tap tap tap. Point your finger up. Point your finger down. Put it on your head. Head! (head→nose→chin→arm→leg→foot)</p>	<p>※Eeny, meeny, miny, moe は、日本でいうわらべ歌の「どちらにしようかな」のようなもので、英語圏で子供が歌っている数え歌である。オニを決めたりする際に歌ったりする。</p>	
8分	<p>[Let's Listen 2] p.8</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 衣類等の言い方を知る。 ・ 音声を聞いて天気と衣類を線で結ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音声を聞かせる前に、誌面にある天気や衣類等と言えるものを言うよう促す。 ・ 天気に応じてどのような衣類がふさわしいかを児童に考えさせ、これから聞く音声は、親が子に天気に 	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード (衣類等)

		<p>応じた衣類を着るように言っている場面であることを伝え、その確認として音声を聞かせることで、意欲的に聞かせるようにする。</p> <p>・指導者は児童の答えやつぶやきを拾いながら、衣類等の言い方を紹介するとよい。</p> <p>brown / red cap, blue / green shirt, black / yellow boots</p>	
	<p>① Look, it's sunny. Put on your cap. No, not the brown cap. Put on the red cap.</p> <p>② Oh, it's cloudy. Put on your shirt. No, not the blue shirt. Put on the green shirt.</p> <p>③ Oh, it's rainy. Put on your boots. No, not the black boots. Put on the yellow boots.</p> <p>④ Look! It's snowy. Don't forget your boots. That's right. Put on the black boots.</p> <p>Let's make a snowman!</p>		
5分	・本時の活動を振り返り，振り返りカードに記入する。	・児童の英語を使おうとする態度でよかったところについて称賛する。	振り返りカード
2分	○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2) ・挨拶をする。	・児童と一緒に歌う。 ・挨拶をする。	デジタル教材

4年 Unit 2-Lesson 3 Let's play cards. すきな遊びをつたえよう 3/4時間

目 標 天気の違いに慣れ親しみ、好きな遊びについて尋ねたり答えたりして伝え合う。

準 備 児童用テキスト、教師用カード（遊び、天気）、ワークシート（Unit 2-2～2-4）、デジタル教材、振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
3分	・挨拶をする。 ○天気について指導者の質問に答える。	・全体に挨拶をして、個別にも挨拶をする。 ・窓の外をさして、How is the weather?と尋ね、Sunny? Rainy? Cloudy? Snowy? と言いながらジェスチャーで示すとともに、それらの教師用絵カードを見せる。 ・児童の答えやつぶやきに応じて、It's sunny / rainy / cloudy / snowy. と紹介する。さらに、Do you like sunny / rainy / cloudy / snowy days? と尋ね、児童と天気を話題にやり取りをする。	教師用カード (天気)
5分	【Let's Listen 3】 p.9 ・国名と天気を聞き取り、□に天気 の絵を描く。 No.1: I'm in Japan. It's sunny here. No.2: I'm in Egypt. It's sunny. No.3: I'm in Greenland. It's snowy. No.4: Hi, I'm in Canada. It's cloudy today. No.5: I'm in Brazil. It's rainy. No.6: I'm in Hawaii. It's sunny. It's so hot!	・1度音声聞いて聞き取れた国名を発表させ、誌面でその位置を確認してから、再度音声聞かせ、□に天気絵(p.9 Let's Listen 3の天気マーク参照)を描かせる。 ・ほかにもどのような天気があるかと投げかけ、世界の天気予報を聞いてみようと呼びかけ、次の活動につなげる。 ◎天気を聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉	デジタル教材 児童用テキスト
6分	【Let's Watch and Think 2】 p.9 ・世界のさまざまな天気について分かったことを発表する。 例 ・cats と dogs って聞こえたけど天気と関係あるのかな。 ・アメリカでは台風のことをハリケーンって呼ぶのかな。 ・ニュージーランドも雪がたくさん降るんだね。 など	・詳細を聞き取るのではなく、世界にはさまざまな自然環境があることに注意を向けさせる。天気を通じて世界への関心を高めることがねらいである。 気象予報士: Good morning. It's the time of the world weather. ① How about Indonesia? Oh, it rains cats and dogs. Don't forget to carry an umbrella. ② How about America? Oh, very very strong wind! A big hurricane is coming. Don't go outside and be careful. ③ How about New Zealand? Wow, it's snowy. We can see a blanket of snow on the top of the mountains. Don't forget to put on your gloves!	デジタル教材
14分	○天気に応じた好きな遊びを教える。 ・指導者の提案に、No!/Yes, let's. などと答えたり、天気に応じた遊びを提案したりする。	・デジタル教材で Let's Watch and Think 2 の3種類の映像で、天気の様子がよく分かるところで映像を止め、児童を遊びに誘う。あえて、その天気の中でするのは難しい遊びを提案し、児童から No!という返答が来るように仕向け、ではどのような遊びがよいか児童に考えさせることで、児童が天気に応じた遊びを提案したいという意欲を高めるようにする。そうすることで、ペアで天気に応じた遊びを提案をするやり取りに	デジタル教材 教師用カード (遊び、天気)

	<p>つなげる。</p> <p>指導者の発話例 Now in Indonesia. It's rainy. Umm. I like soccer. Everyone, let's play soccer! OK? No? Let's play ...?</p> <p>Now in America. It's windy. Umm, I like dodgeball. Let's play dodgeball. OK? No? Let's play ...?</p> <p>Now in New Zealand. It's snowy. Umm, I like snow! Let's make a snowman. OK? No? Let's play ...?</p> <p>・ペアになり，天気に応じて好きな遊びを提案したり答えたりして伝え合う。</p>	<p>・ペアで好きな遊びを紹介し合い， sunny, rainy, cloudy 等の天気の日に適したと思う遊びを互いに提案するよう言う。隣，前後，斜めで繰り返し行わせる。</p> <p>・児童の実態に応じて，指導者が It's sunny. などと天気を設定したうえで，児童にやり取りをさせてもよい。答え方のパターンを決めずに，児童にどの遊びにするか，どう応じるかを決めさせたい。</p>	
	<p>やり取りの例 A: I like dodgeball. Do you like dodgeball? B: Yes, I do. I like dodgeball. I like soccer, too. A: Let's play dodgeball. B: Yes, let's.</p> <p>C: I like <i>kendama</i>. Do you like <i>kendama</i>? D: No, I don't. Do you like card games? C: Yes, I do. I like card games. D: Let's play card games.</p>	<p>E: I like tag. Do you like tag? F: Yes, I do. I like volleyball. Do you like volleyball? E: Yes, I do. Let's play volleyball. F: Yes, let's.</p> <p>G: I like tag. Do you like tag? H: Yes, I do. I like volleyball. Do you like volleyball? G: Yes, I do. Let's play tag. H: Umm..., sorry. Let's play volleyball. G: Yes, let's.</p>	
		<p>◎好きな遊びについて尋ねたり答えたりしている。 <行動観察・振り返りカード点検></p>	
<p>12分</p>	<p>【Let's Chant】 How's the weather? p.6 ○Let's Sing p.6 Rain, rain, go away Eeny, meeny, miny, moe : 数え歌 One little finger : 歌いながら指示されたものをさし示す。</p>	<p>・児童と一緒にチャンツを言ったり，歌ったりする。</p> <p>・デジタル教材の画面では， Let's Sing の歌詞が表示されるが，これらの語句に慣れ親しませることをねらいとしているのではなく，英語のリズムに慣れ親しませることがねらいである。3曲収録されており，児童の実態に応じて選択して歌うとよい。</p> <p>・One little finger は指導者が動作を付けながら歌う，あるいは，ALT 等がいれば実際に歌ってもらったり，ほかの2曲と同様デジタル教材を視聴させたりする。一緒に言えるところだけを言ってみようと呼びかけ，児童も一緒に動作を付けて歌を楽しませる。</p>	<p>デジタル教材 ワークシート (Unit 2-2 ~ 2-4)</p>
<p>5分</p>	<p>・本時の活動を振り返り，振り返りカードに記入する。</p>	<p>・児童の英語を使おうとする態度でよかったところについて称賛する。</p>	<p>振り返りカード</p>
<p>2分</p>	<p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2) ・挨拶をする。</p>	<p>・児童と一緒に歌う。 ・挨拶をする。</p>	<p>デジタル教材</p>

4年 Unit 2-Lesson 4 Let's play cards. すきな遊びをつたえよう 4/4時間
目 標 相手に配慮しながら、友達を自分の好きな遊びに誘おうとする。
準 備 児童用テキスト、教師用カード (天気)、ワークシート (Unit 2-2~2-4)、デジタル教材、振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	挨拶をする。	・全体に挨拶をして、個別にも挨拶をする。	
3分	○歌 Hello Song (3年 Unit 2) 【Let's Chant】 How's the weather? p.6 ・天気の違い方に慣れ親しむ。	・児童と一緒に歌ったり、チャンツを言ったりする。	デジタル教材
6分	○Let's Sing p.6 Rain, rain, go away Eeny, meeny, miny, moe : 数え歌 One little finger : 歌いながら指示されたものをさし示す。	・児童と一緒に歌う。 ・デジタル教材の画面では、Let's Sing の歌詞が表示されるが、これらの語句に慣れ親しませることをねらいとしているのではなく、英語のリズムに慣れ親しませることがねらいである。3曲収録されており、児童の実態に応じて選択して歌うとよい。 ・One little finger は指導者が動作を付けながら歌う、あるいは、ALT 等がいれば実際に歌ってもらったり、ほかの2曲と同様デジタル教材を視聴させたりする。一緒に言えるところだけを言ってみようと呼びかけ、児童も一緒に動作を付けて歌を楽しませる。	デジタル教材 ワークシート (Unit 2-2 ~ 2-4)
	<p>Rain, rain, go away Rain, rain, go away, come again another day. [My dog / My cat / Little Sayo] wants to play, rain, rain, go away.</p> <p>Eeny, meeny, miny, moe Eeny, meeny, miny, moe, catch a tiger by the toe. If he hollers, let him go. Eeny, meeny, miny, moe.</p> <p>One little finger One little finger, one little finger, one little finger, tap tap tap. Point your finger up. Point your finger down. Put it on your head. Head! (head→nose→chin→arm→leg→foot)</p>		
28分	【Activity】 p.9 ・指導者の質問に答えてやり取りしながら、遊びの言い方や誘い方を繰り返し聞き取り言ったりする。	・指導者は、数名の児童にどんな遊びが好きかを尋ねてやり取りをし、遊びの言い方や誘い方を思い出させながら、次の活動につなげるようにする。	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード (天気)

指導者と児童のやり取りの例

T : Dodgeball, tag, jump rope, bingo, card games, quiz, hide-and-peek (かくれんぼ, *Darumasan-ga-koronda*, *Kan-keri*, soccer, volleyball. What do you like? I like 'tag'. Do you like 'tag'?)

S1: Yes, I do.

T : Great. Let's play 'tag', OK?

S1: Yes, let's.

T : Thank you. S2, do you like 'tag'?

S2: No, I don't.

T : Oh, that's OK. How about 'jump rope'? Do you like 'jump rope'?

S2: No, I don't.

T : I see. How about 'card game'? Do you like 'card game'?

S2: Yes, I do.

T : That's good. Let's play 'card games', OK?

S2: Yes, let's.

・教室を歩いて回って友達とペアになり、挨拶をし、指導者が指定した天気に応じて、好きな遊びを尋ね、遊びに誘う。

・指導者が On a sunny / rainy day などと天気を指定する。

・特別活動や中間休みなどの時間を利用して、みんなでやる遊びを決めるために、1番人気の遊びを尋ね合おうなどと、児童の尋ねたいという意欲を高める工夫をする。

・特別活動で「学級生活の改善を図るために折り合いを付ける力を育成する」活動と連動させることで、「相手に配慮しながら」というねらいにより迫ることができると考えられる。学級会活動などと連動させ、都合がつくなら実際に遊びをして、外国語活動での活動を実生活につなげることで、児童の外国語活動への意欲をより高めたい。

・4年生なりに相手の話に耳を傾け、反応すること、相手に伝わっていることを意識して問いかけたり、繰り返したりすることを大切にさせたい。

・インタビュー結果から、各児童にみんなで行いたい1番人気の遊びを予想させる。その後、全児童が順にみんなで行いたい遊びを言っていき、予想と合っていたかを確認させる。

◎相手に配慮しながら、遊びについて尋ねたり、自分の好きな遊びに誘ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉

指導者と児童のやり取りの例

T: It's sunny today.

A: I like dodgeball.

Do you like dodgeball?

B: Yes, I do. I like soccer.

Do you like soccer?

A: Yes, I do. Let's play dodgeball.

B: Umm... Yes, let's.

A: Do you like dodgeball?

C: Yes, I do. I like soccer.

Do you like soccer?

A: Yes, I do. Let's play soccer.

C: Yes, let's.

A: I like dodgeball.

Do you like dodgeball?

D: No, I don't. I like soccer.

Do you like soccer?

A: Yes, I do.

D: Let's play soccer.

A: Yes, let's.

A: I like dodgeball.

Do you like dodgeball?

E: No, I don't. I like 'tag'.

Do you like 'tag'?

A: No, I don't. Do you like soccer?

E: Yes, I do. Let's play soccer.

A: Yes, let's.

	<ul style="list-style-type: none"> ・天気に応じて、どんな遊びをしたい友達が何人いたかを表に書く。 ・インタビュー結果から、晴れの日／雨の日にどの遊びが人気かを発表する。 ・実際に、児童が晴れの日／雨の日にみんなで行いたい遊びを言っていき、インタビュー結果と比べる。 		
5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の英語を使おうとする態度でよかったところについて称賛する。 	振り返りカード
1分	<ul style="list-style-type: none"> ○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2) ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童と一緒に歌う。 ・挨拶をする。 	デジタル教材

4年—Unit 3 単元名 I like Mondays. すきな曜日は何かな？

1. 単元目標

- ・世界の同年代の子供たちの生活を知るとともに、曜日の言い方や曜日を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。(知識及び技能)
- ・自分の好きな曜日について、尋ねたり答えたりして伝え合う。(思考力・判断力・表現力等)
- ・相手に配慮しながら、自分の好きな曜日を伝え合おうとする。(学びに向かう力・人間性等)

2. 言語材料

- What day is it? It's (Monday). Do you like (Mondays)? Yes, I do. / No, I don't. I like (Mondays).
- day, 曜日 (Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday, Sunday), 果物・野菜 (mushroom, watermelon), 飲食物 (soup, pie, sandwich), fresh
- [既出] 挨拶, What (sport) do you like? How's the weather? It's [sunny / rainy / cloudy / snowy]. it, is, 飲食物, スポーツ, 遊び

3. 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ア ゆっくりはっきりと話された際に、自分のことや身の回りのものを表す簡単な語句を聞き取るようにする。
話すこと (やり取り)	イ 自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うようにする。

4. 単元計画 (3時間)

時	目標 (◆) と主な活動 (【 】 , ○) 【 】 = 誌面化されている活動	◎評価の観点<方法>
1	<p>◆世界の同世代の子供たちと自分たちの生活の共通点に気付くとともに、曜日の言い方に慣れ親しむ。</p> <p>○チャンツ How's the weather? (Unit 2)</p> <p>○スリーヒント・クイズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者のクイズに答え、曜日の言い方を知る。カレンダーを見て、曜日の言い方を確認する。 <p>【Let's Watch and Think 1】 p.11</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の子供たちの平日の放課後や週末の過ごし方の映像を視聴し、聞き取れた言葉や分かったことを発表する。 <p>【Let's Chant】 What day is it? p.11</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞き取れた音を発表し、言えるところから言う。 <p>【Let's Listen】 p.12</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の子供のある曜日の子供の予定を聞いて、それが何曜日から誌面にあるイラストをヒントに考え、() に番号を記入する。 <p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2)</p>	<p>◎世界の同世代の子供たちの生活と自分たちの生活の共通点を見つけている。<行動観察・振り返りカード分析></p> <p>◎曜日を聞いて分かっている。<行動観察・振り返りカード点検></p>
2	<p>◆好きな曜日について、尋ねたり答えたりして伝え合う。</p> <p>【Let's Chant】 What day is it? p.11</p> <p>○ミッシング・ゲーム</p> <p>【Let's Play】 p.12, 13</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者のクイズに答える。 ・自分の1週間の予定について、曜日クイズを出し合う。 <p>○インタビューしよう。</p>	<p>◎自分の好きな曜日について尋ねたり答え</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の好きな曜日について伝え合う。 <p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2)</p>	<p>たりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
3	<p>◆相手に配慮しながら、自分の好きな曜日を伝え合おうとする。</p> <p>【Let's Chant】 What day is it? p.11</p> <p>【Let's Watch and Think 2】 p.12</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誌面イラストを見て、それぞれ登場人物がどのような会話をしているかを考える。 ・映像資料を視聴し、登場人物の好きな曜日やすることについて分かったことを口に記入する。 <p>【Activity】 p.13</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分と同じ曜日が好きな人を見つける。 <p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2)</p>	<p>◎相手に配慮しながら自分の好きな曜日を伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>

4年 Unit 3—Lesson 1 I like Mondays. すきな曜日は何かな? 1/3時間
 目 標 世界の同世代の子供たちと自分たちの生活の共通点に気付くとともに、曜日 of の言い方に慣れ親しむ。
 準 備 児童用テキスト、教師用カード (曜日)、カレンダー (教室にあるもの)、デジタル教材、振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶をして、個別にも挨拶をする。	
1分	○チャンツ How's the weather? (Unit 2)	・児童と一緒に歌う。	デジタル教材
10分	○スリーヒント・クイズ ・指導者のクイズに答え、曜日の言い方を知る。カレンダーを見て、曜日の言い方を確認する。	・スリーヒント・クイズをすることを告げ、時間割やテレビ番組など、児童に身近なことからヒントを出す。児童は教科の言い方を知らないため、教科書等を見せながら教科の言い方を言うといい。曜日クイズであることに気付くようにヒントを工夫する。 ・児童のつぶやきや答えを拾い、曜日の言い方を紹介する。7つの曜日が出そろったところで、教室にあるカレンダーをさしながら、曜日の言い方を数回繰り返して言い、曜日の言い方を確認する。 ・各曜日の放課後や週末にどのようなことをするかなどと問いかけ、次の活動につなげる。 What do you do after school? Do you play soccer? Do you do your homework? What do you do on Saturdays? Do you watch TV? Do you help your mother and father?	カレンダー (教室にあるもの) 教師用カード (曜日)
10分	【Let's Watch and Think 1】 p.11 ・世界の子供たちの平日の放課後や週末の過ごし方の映像を視聴し、聞き取れた言葉や分かったことを発表する。	・世界の子供たちの生活と自分たちの生活を比べ、共通点を考えさせる。ただし、この段階の児童にとっては、映像は難しい内容となっているため、すべてを聞き取ったり理解したりしなくてもよいことを伝え、まずは聞き取れた言葉を発表させる。 ・映像で見る世界の子供たちの様子は、1つの例であることを伝える。また、それぞれの子供たちはある曜日のことだけを話しているが、それに対して次のような補足を日本語ですておくことで、児童の理解の補助になるとともに、映像の子供たちの様子に現実味が増すと思われる。 ① 月曜日以外は、この子の兄弟がお手伝いをするという役割なのかもしれない。 ② 火曜日以外は、何時に起きているのかな。火曜日は、朝に何か特別な用事があるのかもしれないね。 ③ 平日は、学校でコンピューターを使って学習しているのかもしれない。 ④ 金曜日以外は、ほかの遊びをしている。 ⑤ 土曜日に、地域のサッカーチームでサッカーをしているのかもしれない。 ◎世界の同世代の子供たちの生活と自分たちの生活の共通点を見つけている。〈行動観察・振り返りカード分析〉	デジタル教材 児童用テキスト
	① Hi, I'm Ruth. I'm in the Philippines. I help my mother after school on Mondays. ② Hi, I'm Mustafa. I'm in Egypt. I get up at five on Tuesdays. ③ Hi, I'm Emilia. I'm in Finland. I study with a computer on Sundays. ④ Hi, I'm Manish. I'm in India. I play Kabaddi on Fridays. ⑤ Hi, I'm Jessica. I'm in Brazil. I play soccer on Saturdays.		

5分	<p>【Let's Chant】 What day is it? p.11 ・聞き取れた音を発表し、言えるところから言う。</p>	<p>・本チャンツは、各曜日とその曜日の最初の音などを含む食べ物や食材が歌詞となっている。例えば、Monday [mʌndeɪ] は、mushroom [mʌʃru:m] のように、[mʌ] が同じである。こうすることで、児童にとって身近な食べ物などと結び付けて曜日が言いやすくなると思われる。また、長いチャンツであるため、最初はスクリプトの初めの3行分のみを扱うとよい。 ・児童の実態に応じて途中で止めるなどして、意欲的に取り組めるように配慮する。</p>	デジタル教材																		
<p>Monday mushroom, Tuesday soup, Wednesday watermelon, Thursday circle pie, Friday fresh fish, Saturday sandwich, Sunday salad. What day is it? It's Monday. Monday, mushroom. (clap) (clap) What day is it? It's Tuesday. Monday, mushroom, Tuesday, soup. (clap) (clap) What day is it? It's Wednesday. Monday, mushroom, Tuesday, soup, Wednesday, watermelon. (clap) (clap) What day is it? It's Thursday. Monday, mushroom, Tuesday, soup, Wednesday, watermelon, Thursday, circle pie. (clap) (clap) What day is it? It's Friday. Monday, mushroom, Tuesday, soup, Wednesday, watermelon, Thursday, circle pie, Friday, fresh fish. (clap) (clap) What day is it? It's Saturday. Monday, mushroom, Tuesday, soup, Wednesday, watermelon, Thursday, circle pie, Friday, fresh fish, Saturday sandwich. (clap) (clap) What day is it? It's Sunday. Monday, mushroom, Tuesday, soup, Wednesday, watermelon, Thursday, circle pie, Friday, fresh fish, Saturday sandwich, Sunday salad. (clap) (clap) (clap)</p>																					
10分	<p>【Let's Listen】 p.12 ・登場人物のある曜日の予定を聞いて、それが何曜日かを誌面にあるイラストをヒントに考え、()に番号を記入する。</p>	<p>・誌面で月曜日から日曜日までどのような予定を表しているかを確認する。 ・次に音声で、1週間の予定を聞かせる。その後、児童にクイズに答えようと呼びかけ、クイズの音声を聞いてどの曜日のことかを考えさせ、()に番号を記入させる。その後、回答の音声で答えを確認する。 ・曜日の言い方や尋ね方を繰り返し聞かせ、慣れ親しませることがねらいである。</p>	児童用テキスト デジタル教材																		
<table border="0" style="width:100%; border:none;"> <tr> <td style="width:50%; border:none;">I play with my friends on Mondays.</td> <td style="width:50%; border:none;">Now, I have a question.</td> </tr> <tr> <td style="border:none;">I study English on Tuesdays.</td> <td style="border:none;">No.1 : Today, I play the piano. What day is it today?</td> </tr> <tr> <td style="border:none;">I play with my friends on Wednesdays.</td> <td style="border:none;">解答 It's Thursday.</td> </tr> <tr> <td style="border:none;">I play the piano on Thursdays.</td> <td style="border:none;">No.2 : Today, I study English. What day is it today?</td> </tr> <tr> <td style="border:none;">I go swimming on Fridays.</td> <td style="border:none;">解答 It's Tuesday.</td> </tr> <tr> <td style="border:none;">I play soccer on Saturdays.</td> <td style="border:none;">No.3 : Today, I play soccer. What day is it today?</td> </tr> <tr> <td style="border:none;">I watch TV on Sundays.</td> <td style="border:none;">解答 It's Saturday.</td> </tr> <tr> <td style="border:none;"></td> <td style="border:none;">No.4 : Today, I go swimming. What day is it today?</td> </tr> <tr> <td style="border:none;"></td> <td style="border:none;">解答 It's Friday.</td> </tr> </table>				I play with my friends on Mondays.	Now, I have a question.	I study English on Tuesdays.	No.1 : Today, I play the piano. What day is it today?	I play with my friends on Wednesdays.	解答 It's Thursday.	I play the piano on Thursdays.	No.2 : Today, I study English. What day is it today?	I go swimming on Fridays.	解答 It's Tuesday.	I play soccer on Saturdays.	No.3 : Today, I play soccer. What day is it today?	I watch TV on Sundays.	解答 It's Saturday.		No.4 : Today, I go swimming. What day is it today?		解答 It's Friday.
I play with my friends on Mondays.	Now, I have a question.																				
I study English on Tuesdays.	No.1 : Today, I play the piano. What day is it today?																				
I play with my friends on Wednesdays.	解答 It's Thursday.																				
I play the piano on Thursdays.	No.2 : Today, I study English. What day is it today?																				
I go swimming on Fridays.	解答 It's Tuesday.																				
I play soccer on Saturdays.	No.3 : Today, I play soccer. What day is it today?																				
I watch TV on Sundays.	解答 It's Saturday.																				
	No.4 : Today, I go swimming. What day is it today?																				
	解答 It's Friday.																				
◎曜日を聞いて分かっている。〈行動観察・振り返りカード点検〉																					
5分	<p>・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。</p>	<p>・児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。</p>	振り返りカード																		
2分	<p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2) ・挨拶をする。</p>	<p>・児童と一緒に歌う。 ・挨拶をする。</p>	デジタル教材																		

4年 Unit 3—Lesson 2 I like Mondays. すきな曜日は何かな? 2/3 時間

目 標 好きな曜日について、尋ねたり答えたりして伝え合う。

準 備 児童用テキスト、教師用カード (曜日、スポーツなど)、ワークシート (Unit 3-1)、デジタル教材、振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。 ・今日の曜日を答える。	・全体に挨拶をして、個別にも挨拶をする。 ・カレンダーを指し、What day is it today?と尋ねる。	教師用カード (曜日)
3分	【Let's Chant】 What day is it? p.11	・スクリプトの最初の3行を児童と一緒に言う。	デジタル教材
	Monday mushroom, Tuesday soup, Wednesday watermelon, Thursday circle pie, Friday fresh fish, Saturday sandwich, Sunday salad. What day is it? It's Monday. Monday, mushroom. (clap) (clap) What day is it? It's Tuesday. Monday, mushroom, Tuesday, soup. (clap) (clap) What day is it? It's Wednesday. Monday, mushroom, Tuesday, soup, Wednesday, watermelon. (clap) (clap) What day is it? It's Thursday. Monday, mushroom, Tuesday, soup, Wednesday, watermelon, Thursday, circle pie. (clap) (clap) What day is it? It's Friday. Monday, mushroom, Tuesday, soup, Wednesday, watermelon, Thursday, circle pie, Friday, fresh fish. (clap) (clap) What day is it? It's Saturday. Monday, mushroom, Tuesday, soup, Wednesday, watermelon, Thursday, circle pie, Friday, fresh fish, Saturday sandwich. (clap) (clap) What day is it? It's Sunday. Monday, mushroom, Tuesday, soup, Wednesday, watermelon, Thursday, circle pie, Friday, fresh fish, Saturday sandwich, Sunday salad. (clap) (clap) (clap)		
5分	○ミッシング・ゲーム	・児童と言い方を確認しながら、教師用カードを黒板に掲示する。	教師用カード (曜日)
	ミッシング・ゲーム進め方 ・指導者は、児童と曜日の言い方を確認しながら、曜日カードを掲示した後、さらにその言い方を児童と確認しながら全てのカードを外す。その中から1枚カードを除き、取り除いたカード以外のカードを児童と曜日の言い方を再度言いながら黒板に掲示する。掲示し終わったところで、黒板にないカードの曜日が何かを考えて答えるゲーム。隠すカードは1～4枚程度 (実態に応じて)。 ・黒板に絵カードを掲示したままにして置き、児童に目を閉じさせ、その間に黒板に掲示した絵カードの中から1～4枚程度を隠し、目を開けてなくなったカードの曜日を覚えて答えさせる方法もある。児童の実態に合わせて選択するとよい。		
20分	【Let's Play】 p.12, 13 ・指導者のクイズに答える。	・指導者はあらかじめ、Let's Listen を参考に、曜日クイズを考えておく。 ・児童と一緒に曜日を言いながら教師用カード (曜日) を黒板に掲示していく。 ・各曜日の下に、指導者がすることを、その動作などの絵カードを掲示しながら紹介する。その際、児童の負担感を考えて、児童がこれまでに慣れ親しんだ語彙や表現をできるだけ使い、児童にクイズに答えられたという達成感をもたせるようにする。	教師用カード (曜日、スポーツなど) 児童用テキスト

	<p>曜日クイズの例</p> <p>I like sports very much. Do you like sport? What sport do you like? This is my schedule.</p> <p>Monday : I play soccer. (Let's Try! 1 soccer 絵カードを掲示する)</p> <p>Tuesday : I play baseball. (Let's Try! 1 baseball 絵カードを掲示する)</p> <p>Wednesday : I swim. (Let's Try! 1 swimming 絵カードを掲示する)</p> <p>Thursday : I play basketball. (Let's Try! 1 basketball 絵カードを掲示する)</p> <p>Friday : I play dodgeball. (Let's Try! 1 dodgeball 絵カードを掲示する)</p> <p>Saturday : I play volleyball. (Let's Try! 1 volleyball 絵カードを掲示する)</p> <p>Sunday : I play table tennis. (Let's Try! 1 table tennis 絵カードを掲示する)</p> <p>Let's play "Yobi Quiz".</p> <p>No.1 Today I swim. What day is it?</p> <p>No.2 Today I play volleyball. What day is it?</p>		
	<p>・ペアで1週間の予定について、曜日クイズを出し合う。</p> <p>対話例</p> <p>(A: 1週間の予定で木曜日にサッカーを入れる場合)</p> <p>A: Today. Soccer. What day is it today?</p> <p>B: It's Thursday.</p> <p>A: That's right.</p> <p>(B: 1週間の予定で月・金曜日に体操を入れる場合)</p> <p>B: Today, 体操. What day is it today?</p> <p>A: It's Friday.</p> <p>B: No, sorry.</p> <p>A: It's Monday.</p> <p>B: That's right.</p>	<p>・実際に児童に1週間の予定を表に記入させ、それをもとにクイズを出させる。ただし、指導者が出したようなクイズの例を児童が発話することは難しく、また、児童の生活もさまざまで、それらを表す英語の語彙や表現には慣れ親しんでいないため、誌面の表に書き入れるのはイラストや日本語でとし、ヒントも単語レベルや日本語で出してよいこととする。この活動のねらいは、曜日の言い方に慣れ親しませることである。</p> <p>・児童に実態に応じて、「できた」という達成感をもたせるように工夫する。</p>	
8分	<p>○インタビューしよう。</p> <p>・ペアになり、自分の予定を伝え合う。互いに相手の予定をもとに相手が好きな曜日を予想して尋ね合い、好きな曜日を交流する。</p>	<p>・児童に自分の予定をワークシート (Unit 3-1) にイラストや日本語で記入させる。代表児童と進め方を示し、児童の理解を図る。指導者と代表児童は、予定を簡単に伝え合い、その児童に指導者の予定をもとに指導者が好きそうな曜日を予想して尋ねるように言う。</p> <p>◎自分の好きな曜日について尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	ワークシート (Unit 3-1)
5分	<p>・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。</p>	<p>・児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。</p>	振り返りカード
2分	<p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2)</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・児童と一緒に歌う。</p> <p>・挨拶をする。</p>	デジタル教材

<p>4年 Unit 3—Lesson 3 I like Mondays. すきな曜日は何かな? 3/3 時間</p> <p>目 標 相手に配慮しながら、自分の好きな曜日を伝え合おうとする。</p> <p>準 備 児童用テキスト、デジタル教材、振り返りカード</p>

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶をして、個別にも挨拶をする。	
3分	<p>【Let's Chant】 What day is it? p.11</p> <p>Monday mushroom, Tuesday soup, Wednesday watermelon, Thursday circle pie, Friday fresh fish, Saturday sandwich, Sunday salad.</p> <p>What day is it? It's Monday. Monday, mushroom. (clap) (clap)</p> <p>What day is it? It's Tuesday. Monday, mushroom, Tuesday, soup. (clap) (clap)</p> <p>What day is it? It's Wednesday. Monday, mushroom, Tuesday, soup, Wednesday, watermelon. (clap) (clap)</p> <p>What day is it? It's Thursday. Monday, mushroom, Tuesday, soup, Wednesday, watermelon, Thursday, circle pie. (clap) (clap)</p> <p>What day is it? It's Friday. Monday, mushroom, Tuesday, soup, Wednesday, watermelon, Thursday, circle pie, Friday, fresh fish. (clap) (clap)</p> <p>What day is it? It's Saturday. Monday, mushroom, Tuesday, soup, Wednesday, watermelon, Thursday, circle pie, Friday, fresh fish, Saturday sandwich. (clap) (clap)</p> <p>What day is it? It's Sunday. Monday, mushroom, Tuesday, soup, Wednesday, watermelon, Thursday, circle pie, Friday, fresh fish, Saturday sandwich, Sunday salad. (clap) (clap) (clap)</p>	・スクリプトの最初の3行を児童と一緒に言う。	デジタル教材
10分	<p>【Let's Watch and Think 2】 p.12</p> <p>・誌面イラストを見て、それぞれ登場人物がどのような会話をしているかを考える。</p> <p>・映像資料を視聴し、登場人物の好きな曜日やすることについて分かったことを口に記入する。</p> <p><記入例></p> <p>① テニスに誘った。でもラケットがなかった。2本あるから、大丈夫だった。</p> <p>② さよは日曜日が嫌い。掃除をしないといけないから。でもエミリーは日曜日が好き。</p> <p>③ 2人ともサッカーが好き。 など</p>	<p>・誌面イラストを見て、登場人物を確認したうえで、どのような会話をしているかを想像させてから視聴させる。</p> <p>・映像資料の会話は少々長く、この段階の児童にとっては聞き取るのが難しい場合もある。そこで、すべてを聞き取ったり理解したりする必要がないことを伝えたとうえで、聞き取れた言葉を発表させるとよい。</p> <p>1 ロバート : Takeru, let's play tennis after school. たける : Sounds good, but I don't have a racket today. ロバート : No problem. I have two rackets. たける : Great!</p> <p>2 エミリー : Do you like Sundays, Sayo? さよ : No, I don't. I clean my room, and do homework on Sundays. I'm very busy, so I don't like Sundays. Do you like Sundays, Emily? エミリー : Oh, yes, I like Sundays. I watch my favorite TV program on Sundays.</p> <p>3 ウィリアム : Hi, Sayo. Today is Wednesday. We have a soccer game today. Let's go to the playground and let's play soccer! さよ : Sure. I like soccer and I like Wednesdays very much. ウィリアム : Me, too.</p>	デジタル教材 児童用テキスト

23分	<p>【Activity】 p.13</p> <p>・教室を歩いてペアになり、自分と同じ曜日が好きな人を見つける。</p> <p>やり取りの例</p> <p>A: Do you like Mondays? B: No, I don't. I like Fridays. Do you like Fridays? A: No, I don't. I like Mondays.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者が数名の児童とやり取りのデモンストレーションをし、相手意識の大切さを確認してから取り組ませる。また、「自分と同じ曜日が好きな友達を見つけよう。」と設定することで、児童の活動への意欲を高める。 ・教室を歩いて回りペアになって、好きな曜日を尋ね合わせる。理由を言う際には、児童の実態に応じて、分かる語句でできるだけ英語で伝えるように求めてもよいし、日本語で伝えてもよい。 ・4年生なりに相手の話に耳を傾け、反応すること、相手に伝わっていることを意識して問いかけたり繰り返したりすることを大切にしたい。 ・活動を途中で止め中間評価をする。児童のやり取りの中から相手に配慮しながら伝え合っている例を学級全体で共有し、後半の活動が一層ねらいに沿ったものとなるようにする。 <p>◎相手に配慮しながら自分の好きな曜日を伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	児童用テキスト
5分	<p>・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。</p>	<p>・児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。</p>	振り返りカード
2分	<p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2)</p> <p>・挨拶をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童と一緒に歌う。 ・挨拶をする。 	デジタル教材

4年—Unit 4

単元名

What time is it?

今、何時？

1. 単元目標

- ・世界の国や地域によって時刻が異なることに気付くとともに、時刻や日課の言い方や尋ね方に慣れ親しむ。(知識及び技能)
 - ・自分の好きな時間について、尋ねたり答えたりして伝え合う。(思考力、判断力、表現力等)
 - ・相手に配慮しながら、自分の好きな時間について伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)
- ※二重線は、「指導編」記載の単元目標を変更した部分。

2. 言語材料

○ What time is it? It's (8:30). It's ("Homework Time"). How about you?

○ 数字 (forty, fifty, sixty), a.m., p.m., about, 日課・時間 ([wake-up / breakfast / study / lunch / snack / dinner / homework / TV / bath / bed / dream] time)

[既出] 挨拶, How's the weather? It's [sunny / rainy / cloudy / snowy]. What day is it? It's (Monday). what, is, it, book, 数 (1~60), 曜日, スポーツ, 遊び

3. 該当する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ア ゆっくりはっきりと話された際に、自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句を聞き取るようにする。
話すこと (やり取り)	ウ 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができるようにする。

4. 単元計画 (4時間)

時	目標 (◆) と主な活動 (【】 , ○) 【 】 = 誌面化されている活動	◎評価の観点<方法>
1	<p>◆時刻や日課の言い方に慣れ親しむ。</p> <p>○チャンツ What day is it? (Unit 3)</p> <p>○どんな場面かな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでに慣れ親しんだ数の言い方を確認したり、時刻と日課の言い方を知ったりする。 <p>○先生の生活を知ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の話を聞いて、指導者の日課を知る。 ・時刻や時刻の言い方を何度も聞いたり指導者の質問に答えたりして、慣れ親しむ。 <p>【Let's Watch and Think 1】 p.14, 15</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物がどの時刻に何をするかを聞いて、時刻と日課を線で結ぶ。 <p>【Let's Chant】 What time is it? p.15</p> <p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2)</p>	◎時刻や日課を聞いている。<行動観察・誌面点検・振り返りカード点検>
2	<p>◆世界の国や地域によって時刻が異なることに気付くとともに、時刻や日課の言い方に慣れ親しむ。</p> <p>【Let's Chant】 What time is it? p.15</p> <p>○ポインティング・ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の言う日課を、誌面の p.14, 15 から探して指さし、繰り返して言う。 	

	<p>【Let's Watch and Think 2】 p.16, 17</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の質問に答えながら、時刻の言い方に慣れ親しむ。 ・映像資料を視聴し時計を完成させ、時刻と日課を線で結ぶ。 <p>【Let's Listen】 p.16</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞いて、時刻を聞き取り、時計に短針を記入し時計を完成させる。 <p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2)</p>	<p>◎世界の国や地域によって時刻が違うことに気付いている。〈行動観察・振り返りカード分析〉</p> <p>◎時刻や日課を聞いたり言ったりしている。〈行動観察・誌面点検・振り返りカード点検〉</p> <p>◎時刻や日課を聞いている。〈行動観察・誌面点検・振り返りカード点検〉</p>
3	<p>◆自分の好きな時間について、尋ねたり答えたりして伝え合う。</p> <p>【Let's Chant】 What time is it? p.15</p> <p>【Let's Watch and Think 1】 p.14, 15</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映像を「通し視聴」する。 <p>○友達の日課と比べよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで日課の時刻を尋ね合い、自分と友達の生活と比べる。 <p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2)</p>	<p>◎日課について、尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
4	<p>◆相手に配慮しながら、自分の好きな時間について伝え合おうとする。</p> <p>【Let's Chant】 What time is it? p.15</p> <p>【Activity】 p.17</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の好きな時刻や日課とその理由を伝え合う。 <p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2)</p>	<p>◎相手に配慮しながら、自分の好きな時間について尋ねたり答えたりして伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>

4年 Unit 4—Lesson 1 What time is it? 今、何時? 1/4時間

目 標 時刻や日課の言い方に慣れ親しむ。

準 備 児童用テキスト, 教師用カード (日課), デジタル教材, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶して、個別にも挨拶をする。	
2分	○チャンツ What day is it? (Unit 3)	・児童と一緒にチャンツを言う。	デジタル教材
10分	○どんな場面かな。 ・誌面 p.14,15 を見て、英語で言えるものを発表する。これまでに慣れ親しんだ数の言い方を確認したり、時刻と日課の言い方を知ったりする。	・児童用テキスト p.14, 15 を開けさせ、英語で表現できるものを発表させる。指導者は児童の答えやつぶやきを拾いながら、10種類の日課のイラストがどのような場面かを児童から引き出し、日課の言い方を紹介する。その際、日課の絵カードを黒板に順に掲示し、次の活動につなげる。 ・ここでは児童の負担を考慮し、日課の言い方を以下のように名詞にしている。本単元で自分や友達の日課を題材に、これらに慣れ親しんだことが、5年生 Unit 4 につながる。 [Wake up / Breakfast / Study / Lunch / Snack / Homework / Dinner / Bath / Bed / Dream] Time ・自分の生活と学級の友達の生活を比べながら、誌面の各イラストの時刻と日課を扱うことで、児童の興味・関心を高めるようにする。	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード (日課)
10分	○先生の生活を知ろう。 ・指導者の話を聞いて、指導者の日課を知る。 ・時刻の言い方を何度も聞いたり指導者の質問に答えたりして、慣れ親しむ。	・前活動で黒板に掲示した日課の絵カードの下に、日課の言い方を確認しながら、円(時計の外枠)を描いていく。指導者自身の日課を紹介しながら、時計に見立てた円に単針と長針を描き、時刻を示す。(円に 12, 3, 6, 9 時を表す点を円上に打つ) ・一方的に話すのではなく、What time do you wake up / go to bed? What time is your "Breakfast Time"? などと児童に問いかけ、児童の答えやつぶやきを拾いながら、何度も日課や時刻を聞かせ、慣れ親しませるようにする。	教師用カード (日課)
10分	【Let's Watch and Think 1】 p.14, 15 ・登場人物がどの時刻に何をするかを聞いて、時刻と日課を線で結ぶ。	・登場人物の1日の生活を見せて、誌面の日課のイラストと時刻を線で結ぶよう伝える。 ・児童用テキスト誌面には、日課の絵と時刻を結ぶためのドットは記されていないが、デジタル教材の画面では両方にドットが記されている。そこでまず指導者がデジタル画面を映し出し、例として線で結ぶのを示すとよい。 ・10種類の日課を一気に視聴させるのではなく、児童にどの日課から視聴したいか尋ねたり、児童自身は何時にしているかを尋ねたりしながら、自	デジタル教材 教師用カード (日課)

		<p>分の生活と比べてみようと呼びかけ、1つずつ視聴させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の生活と比べながら視聴させることで、児童の興味・関心を高めるようにする。 ・音声で例えば9時に寝る日課を Bed Time と言っているが、当然「9時」のことをさしているのではなく「寝ること」を Bed Time と言っている。他の日課も同様である。 	
	<p>What time is it? It's 6 a.m. It's "Wake-up Time." Good morning. What time is it? It's 7 a.m. It's "Breakfast Time." Yummy. What time is it? It's 10 a.m. It's "Study Time." I like English. What time is it? It's 12 p.m. It's "Lunch Time." I love school lunch. What time is it? It's 3 p.m. It's "Snack Time." I'm happy. What time is it? It's 5 p.m. It's "Homework Time." I study Japanese. What time is it? It's 7 p.m. It's "Dinner Time." I'm hungry. What time is it? It's 8 p.m. It's "Bath Time." I'm fine. What time is it? It's 9 p.m. It's "Bed Time." Good night. What time is it? It's 3 a.m. It's "Dream Time." I'm happy.</p>	◎時刻や日課を聞いている。〈行動観察・誌面点検・振り返りカード点検〉	
4分	<p>【Let's Chant】 What time is it? p.15 ・言えるところから言う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・まずチャンツを聞かせ、言えるところから言わせるようにする。 ・児童と一緒に言う。 	デジタル教材
	<p>What time is it? What time is it? (=※)</p> <p>It's 6 a.m. It's "Wake-up Time." ※ It's 7 a.m. It's "Breakfast Time." ※ It's 10 a.m. It's "Study Time." ※ It's 12 p.m. It's "Lunch Time." ※ It's 3 p.m. It's "Snack Time." ※ It's 5 p.m. It's "Homework Time." ※ It's 7 p.m. It's "Dinner Time." ※ It's 8 p.m. It's "Bath Time." ※ It's 9 p.m. It's "Bed Time." ※ It's 3 a.m. It's "Dream Time."</p>		
5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。 	振り返りカード
2分	<p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2) ・挨拶をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童と一緒に歌う。 ・挨拶をする。 	デジタル教材

4年 Unit 4—Lesson 2 What time is it? 今、何時? 2/4 時間

目 標 世界の国や地域によって時刻が異なることに気付くとともに、時刻や日課の言い方に慣れ親しむ。

準 備 児童用テキスト、教師用カード（日課）、デジタル教材、ワークシート（Unit 1-2, 1-3：ビンゴシート）、振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶して、個別にも挨拶をする。	
3分	<p>【Let's Chant】 What time is it? p.15</p> <p>・言えるところから言う。</p>	<p>・児童と一緒に言う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>What time is it? What time is it? (=※)</p> <p>It's 6 a.m. It's "Wake-up Time."</p> <p>※ It's 7 a.m. It's "Breakfast Time."</p> <p>※ It's 10 a.m. It's "Study Time."</p> <p>※ It's 12 p.m. It's "Lunch Time."</p> <p>※ It's 3 p.m. It's "Snack Time."</p> <p>※ It's 5 p.m. It's "Homework Time."</p> <p>※ It's 7 p.m. It's "Dinner Time."</p> <p>※ It's 8 p.m. It's "Bath Time."</p> <p>※ It's 9 p.m. It's "Bed Time."</p> <p>※ It's 3 a.m. It's "Dream Time."</p> </div>	デジタル教材
10分	<p>○ポインティング・ゲーム</p> <p>・指導者の言う日課を、誌面 p.14, 15 の絵から探して指さし、繰り返して言う。</p> <p>・ペアで行った後、個人で行う。</p>	<p>・指導者は、児童と日課の言い方を確認しながら黒板に日課の絵カードを朝から順に掲示する。その際、児童に Do you like “~Time”? What time is your “~Time”? などと問いかけ、児童とやり取りをしながら掲示していく。このことが単元終末の活動につながる。すべての絵カードを掲示したところで、ポインティング・ゲームをすることを伝える。日課の言い方を聞いたり言ったりして、慣れ親しませることがねらいである。</p>	教師用カード （日課） デジタル教材 児童用テキスト
15分	<p>【Let's Watch and Think 2】 p.16, 17</p> <p>・指導者の質問に答えながら、時刻の言い方に慣れ親しむ。</p>	<p>・児童用テキスト誌面 p.16, 17 を開かせ、Let's Watch and Think の地図にある都市名（London, Tokyo, San Francisco, New York）と、それがどの国にあるかを確認する。</p> <p>・東京の時刻について What time is it in Tokyo? と尋ね、児童から Twelve. という答えを引き出し、It's twelve. と時刻の言い方を確認する。次に、東京が正午の時、It's twelve in Tokyo. What time is it in London / San Francisco / New York? と、ほかの都市は何時かと問いかけ、児童に時刻を予想させる。児童の答えやつぶやきを拾って、何度も It's ~. と時刻の言い方を聞かせ、児童が自ら It's ~. というようにする。</p> <p>・まず、東京の映像から見せて、正午であることを確認し、時計と日課の絵を線で結ばせる。続いてほ</p>	デジタル教材 児童用テキスト
	・映像資料を視聴し、時計を完成させ、時刻と日課の絵を線で結ぶ。		

		<p>かの3都市を1つずつ見せて、時計に長針を記入し、日課の絵と線で結ばせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・また、他都市での時刻を予想させるとともに、その時刻に、その都市の子供たちは何をしているかも考えさえ、児童に日課を自ら言うように促す。世界の様々な地域で、それぞれがさまざまな生活を営んでいることを感じさせたい。 ・インターネット接続が可能なら、世界のリアルタイム映像を視聴させ、児童の興味・関心を高めたい。 	
	<p>① グレース : Hi, this is Grace. I'm in London. It's 3 a.m. It's "Dream Time." How about you, Graham? ② グラハム : Hi, Grace. I'm in Tokyo. It's 12 p.m. It's "Lunch Time." How about you, Jane? ③ ジェーン : Hi, Graham. I'm in San Francisco. It's 7 p.m. It's "Dinner Time." How about you, Chris? ④ クリス : Hi, Jane. I'm in New York. It's 10 p.m. It's "Bed Time." See you!</p>		
		<p>◎世界の国や地域によって時刻が違うことに気付いている。〈行動観察・振り返りカード分析〉</p> <p>◎時刻や日課を聞いたり言ったりしている。〈行動観察・誌面点検・振り返りカード点検〉</p>	
8分	<p>【Let's Listen】 p.16</p> <p>・音声を聞いて、時刻を聞き取り、時計に長針を記入し時計を完成させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の実態に応じて、誌面にある4種類の日課の言い方を確認してから行ってもよい。 ・また、ここでの聞き取りが、単元終末の活動のモデルとなることから、単に聞く活動で終わらせるのではなく、それぞれ聞いた後、Do you like “~ Time”? What time is your “~ Time”? などと児童に問いかけ、児童とやり取りをするようにする。 ・また児童の実態によっては、本活動の前にビンゴ・ゲームなどで時刻の言い方に慣れ親しませておくのもよい。各児童にビンゴシート (Unit 1-2, 1-3) を配布し、マスに1~12の数字を書かせ、全児童にWhat time is it? と問わせ、指導者が It's ~. で答える。指導者の言った時刻の数字がシートにあればチェックする。縦、横、斜めのどれか1列にチェックがそろえばビンゴとなる。 	<p>デジタル教材 児童用テキスト ワークシート (Unit 1-2, 1-3 : ビンゴシート)</p>
	<p>1 さよ : I like 3 p.m. 友達 : Why? さよ : It's "Snack Time." I like sweets. 2 ロバート : I like 7 a.m. 友達 : Why? ロバート : It's "Breakfast Time." I like <i>miso</i> soup.</p> <p>3 たける : I like 8 p.m. 友達 : Why? たける : It's "Bath Time." I like my new shampoo. 4 ジョアン : I like 5 p.m. 友達 : Why? ジョアン : It's "Homework Time." I like English.</p>		
		◎時刻や日課を聞いている。〈行動観察・誌面点検・振り返りカード点検〉	
5分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。	・児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。	振り返りカード
2分	○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2) ・挨拶をする。	・児童と一緒に歌う。 ・挨拶をする。	デジタル教材

4年 Unit 4—Lesson 3 What time is it? 今、何時? 3/4時間

目 標 自分の好きな時間について、尋ねたり答えたりして伝え合う。

準 備 児童用テキスト、教師用カード(日課)、デジタル教材、ワークシート (Unit 4-1, 4-2) , 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶して、個別にも挨拶をする。	
2分	【Let's Chant】 What time is it? p.15 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> What time is it? What time is it? (=※) It's 6 a.m. It's "Wake-up Time." ※ It's 7 a.m. It's "Breakfast Time." ※ It's 10 a.m. It's "Study Time." ※ It's 12 p.m. It's "Lunch Time." ※ It's 3 p.m. It's "Snack Time." ※ It's 5 p.m. It's "Homework Time." ※ It's 7 p.m. It's "Dinner Time." ※ It's 8 p.m. It's "Bath Time." ※ It's 9 p.m. It's "Bed Time." ※ It's 3 a.m. It's "Dream Time." </div>	・児童と一緒に言う。 ・時刻の部分、自分の時刻に替えて言わせる。	デジタル教材
8分	【Let's Watch and Think 1】 p.14, 15 ・映像を「通し視聴」する。	・前時に視聴した、映像を通して見せる。指導者は、登場人物が名前、時刻、日課を言う前にいったん止めて、Is it "Bed Time / Dinner Time / Lunch Time"?などと尋ね、児童から日課を引き出し、前時の活動を想起させるようにする。 ・その際に、指導者は What time is your "Wake-up Time"?などと尋ね、児童とやり取りしながら進めるようにする。	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード (日課)
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> What time is it? It's 6 a.m. It's "Wake-up Time." Good morning. What time is it? It's 7 a.m. It's "Breakfast Time." Yummy. What time is it? It's 10 a.m. It's "Study Time." I like English. What time is it? It's 12 p.m. It's "Lunch Time." I love school lunch. What time is it? It's 3 p.m. It's "Snack Time." I'm happy. What time is it? It's 5 p.m. It's "Homework Time." I study Japanese. What time is it? It's 7 p.m. It's "Dinner Time." I'm hungry. What time is it? It's 8 p.m. It's "Bath Time." I'm fine. What time is it? It's 9 p.m. It's "Bed Time." Good night. What time is it? It's 3 a.m. It's "Dream Time." I'm happy. </div>		

26分	<p>○友達の日課と比べよう。</p> <p>・ペアで日課の時刻を尋ね合い、自分と友達の生活と比べる。</p>	<p>・ペアになり、日課の時刻を尋ね合い、自分の生活と比較するよう伝える。</p>	<p>児童用テキスト ワークシート (Unit 4-1, 4-2)</p>
<p>進め方</p> <p>・指導者が数名の児童に、“Bed Time”, what time is it? などと日課の時刻を尋ねてやり取りをする。</p> <p>・その続きで、みんなも互いに尋ね合おうと呼びかけ、隣、前後、斜めどうしで尋ね合わせる。その様子を見て、教室を歩いて回り、ペアになって日課について尋ね合わせるなど、児童が「相手のことが分かった、自分のことが伝えられた」と達成感がもてるよう、児童の実態に合った工夫を心掛ける。</p> <p>・中間評価を行い、後半の活動がねらいに沿ったものとなるようにする。中間評価では、例えば、前半の活動で気持ちの良いやり取りをしているペアを見つけておき、みんなの前でそのやり取りを再現させ、どのような点がよいかをみんなで考え、後半はそれを生かすように促し、よりねらいに沿った活動となるようにする。</p> <p><配慮事項></p> <p>・児童の生活は、入浴習慣や夕食時刻などが多様化しているため、児童によっては答えたくない内容もあるということに配慮する必要がある。児童の伝え合いの意欲が減退しないよう、児童の実態に応じて尋ねる項目を選定することが大切である。</p> <p>・また、Lunch Time, Study Time は、ほぼどの児童も同じであることからここでは扱わないことも考えられる。Snack Time については、そのような習慣のない児童も多いが、あえて扱うことで、児童から No (Snack Time). (自分はそのようなことはしていない) と答えさせることも大切であり、人によって生活が異なることを実感させることができる。ここでは、少なくとも起床、朝食、宿題、就寝などの日課の時刻を尋ね合わせたい。</p>			
		<p>◎日課について、尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	
5分	<p>・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。</p>	<p>・児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。</p>	<p>振り返りカード</p>
2分	<p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2)</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・児童と一緒に歌う。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>デジタル教材</p>

4年 Unit 4—Lesson 4 What time is it? 今、何時? 4/4時間

目 標 相手に配慮しながら、自分の好きな時間について伝え合おうとする。

準 備 児童用テキスト、教師用カード(日課)、デジタル教材、振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ①評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶して、個別にも挨拶をする。	
3分	<p>【Let's Chant】 What time is it? p.15</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>What time is it? What time is it? (=※)</p> <p>It's 6 a.m. It's "Wake-up Time."</p> <p>※ It's 7 a.m. It's "Breakfast Time."</p> <p>※ It's 10 a.m. It's "Study Time."</p> <p>※ It's 12 p.m. It's "Lunch Time."</p> <p>※ It's 3 p.m. It's "Snack Time."</p> <p>※ It's 5 p.m. It's "Homework Time."</p> <p>※ It's 7 p.m. It's "Dinner Time."</p> <p>※ It's 8 p.m. It's "Bath Time."</p> <p>※ It's 9 p.m. It's "Bed Time."</p> <p>※ It's 3 a.m. It's "Dream Time."</p> </div>	<p>・児童と一緒に言う。</p> <p>・時刻の部分で、自分の時刻に変えて言わせる。</p>	デジタル教材 教師用カード (日課)
33分	<p>【Activity】 p.17</p> <p>・指導者の話を聞いて、指導者の生活を知る。</p> <p>・指導者の質問に答えたり、Let's Listenの音声を聞いたりして、自分の好きな時間の伝え合い方を確かめる。</p> <p>・自分の好きな時刻や日課とその理由を伝え合う。</p>	<p>・デモンストレーションとして、好きな時刻と理由を話す。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>例</p> <p>T: I like 7 a.m. Why? (児童にどうしてだと思いかという問いかけ)</p> <p>I like "Breakfast Time". I like <i>miso</i> soup.</p> </div> <p>・続いて、数名の児童に What time do you like? と尋ね、その答えに応じて、さらに Why? と尋ね、活動の見通しをもたせる。さらに、再度 Let's Listen で伝え合うモデルを聞かせ、確かめさせる。</p>	デジタル教材 児童用テキスト
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> 各児童は、1日の生活の中で自分が1番好きな時刻とその理由をあらかじめ誌面に記入しておく。 教室を歩いて回り、ペアになって、好きな時刻や日課とその理由を伝え合う。 活動を途中で止め、中間評価を行い、よりねらいに沿った活動となるようにする。 <p>A: Hello. B: Hi. A: I like 3:00. B: Why? A: It's "Snack Time". I like cakes. How about you? B: I like 7:00. A: Why? B: It's "Dinner time". I like <i>sushi</i>. A: OK, thank you.</p> </div>			

		◎相手に配慮しながら、自分の好きな時間について尋ねたり答えたりして伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉	
5分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。	・児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。	振り返りカード
2分	○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2) ・挨拶をする。	・児童と一緒に歌う。 ・挨拶をする。	デジタル教材

4年—Unit 5 単元名 Do you have a pen? おすすめの文房具セットをつくろう

1. 単元目標

- ・文房具などの学校で使う物や、持ち物を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。(知識及び技能)
- ・文房具など学校で使う物について、尋ねたり答えたりして伝え合う。(思考力, 判断力, 表現力等)
- ・相手に配慮しながら, 文房具など学校で使う物について伝え合おうとする。(学びに向かう力, 人間性等)

2. 言語材料

- Do you have (a pen)? Yes, I do. / No, I don't. I [have / don't have] (a pen). This is for you.
- have, 身の回りの物 (glue stick, scissors, pen, stapler, magnet, marker, pencil sharpener, pencil case, desk, chair, clock, calendar), 状態・気持ち (short)

[既出] 挨拶, How's the weather? It's [sunny / rainy / cloudy / snowy]. What day is it? It's (Monday). Do you like (blue)? Yes, I do. / No, I don't. What (sport) do you like? I like (soccer). (The "A" card), please. How many (apples)? Ten (apples). 状態・気持ち (big, small, long, short), 形, 色, スポーツ, 動物, 飲食物, 数, 身の回りの物 (pencil, eraser, ruler, crayon), 数 (1~60)

3. 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	イ ゆっくりはっきりと話された際に, 身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かるようにする。
話すこと (発表)	ウ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について, 人前で実物などを見せながら, 自分の考えや気持ちなどを, 簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。

4. 単元計画 (4時間)

時	目標 (◆) と主な活動 (【】 , ○) 【 】 = 誌面化されている活動	◎評価の観点<方法>
1	<p>◆文房具などの学校で使う物の言い方に慣れ親しむ。</p> <p>○チャンツ What time is it? (Unit 4)</p> <p>○何かな, 予想しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の質問に答えたり, 持っているものを数えたりする。 <p>○誌面を見てどのようなものがあるかを発表し, 文房具の言い方を知る。</p> <p>○指導者の話を聞いて, 単元の見通しをもつ。</p> <p>【Let's Watch and Think 1】 p.18</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文房具の言い方を知り, その数を数える。 <p>【Let's Play 1】 I spy ゲーム p.19</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者のヒントを聞いて, 自分の持ち物から該当するものを探して言う。 ・指導者の質問に答える。 <p>(○BINGO ゲーム)</p> <p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2)</p>	◎文房具などの学校で使う物を聞いたり言ったりしている。<行動観察・振り返りカード点検>
2	<p>◆文房具などの学校で使う持ち物を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。</p> <p>○BINGO ゲーム</p> <p>○カード・デスティニー・ゲーム</p>	◎文房具などの学校で使う持ち物の質問に答えている。<行動観察・振り返りカード点検>

	<p>【Let's Chant】 Do you have a pen? p.19 ・ペアで、自分の立場で答える形でチャンツを言う。</p> <p>【Let's Listen】 p.20 ・筆箱の中身の紹介を聞き、誰の筆箱かを考えて番号に名前を書く。 ・筆箱の中身について指導者の質問に答えたり、ペアでやり取りしたりする。</p> <p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2)</p>	◎文房具などの学校で使う持ち物の質問に答えている。〈行動観察・振り返りカード点検〉
3	<p>◆文房具など学校で使う物について、尋ねたり答えたりして伝え合う。</p> <p>【Let's Chant】 Do you have a pen? p.19 【Let's Watch and Think 2】 p.20 ・世界の子供たちがかばんの中に持っている物を知り、自分たちの持ち物と比べて気付いたことを口に記入する。</p> <p>【Let's Play 2】 p.21 ・ペアの1人が文房具カードを誌面に置いて文房具セットを作り、相手にそれを伝えて同じ文房具セットを作る。</p> <p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2)</p>	◎文房具などの学校で使う物を尋ねたり答えたりして伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉
4	<p>◆相手に配慮しながら、文房具など学校で使う物について伝え合おうとする。</p> <p>【Let's Chant】 Do you have a pen? p.19 【Activity】 文房具セットをおくろう p.21 ・身近な人のために文房具セットを作る。 ・誰のためにどのようなセットを作ったかを紹介する。</p> <p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2)</p>	◎相手に配慮しながら、文房具など学校で使う物について伝え合おうとする。〈行動観察・振り返りカード点検〉

4年 Unit 5—Lesson 1 Do you have a pen? おすすめの文房具セットをつくろう 1/4 時間

目 標 文房具などの学校で使う物の言い方に慣れ親しむ。

準 備 児童用テキスト、かばん、さまざまな文房具など、教師用カード(文房具)、児童用カード(文房具)、ワークシート(Unit 1-2:ビンゴシート)、文房具セット(ワークシート Unit 5-1, 5-2 を切り取って作成)、デジタル教材、振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶して、個別にも挨拶をする。	
1分	○チャンツ What time is it? (Unit 4)	・児童と一緒に言う。	デジタル教材
12分	○何かな、予想しよう。 ・指導者の質問に答えたり、自分の持っているものを数えたりする。 ○誌面を見てどのようなものがあるかを発表し、文房具の言い方を知る。 ○指導者の話を聞いて、単元の見通しをもつ。	・指導者はあらかじめ、かばんの中に筆箱、ノート、本、教科書、ホッチキス、マグネット、カレンダー、ハンカチ、時計、鍵などを入れておき、児童の中に何が入っていると思うかと問いかけ、児童の答えやつぶやきに応じながら、それらをかばんから1つずつ出して、紹介していく。また、筆箱の中に入っている物についても紹介する。 ・鉛筆などは複数入れておき、児童にその束を見せ、何本あるかを予想させてから、児童と一緒に数える。一方的に話すのではなく、物を見せては、 Do you have pencils in your desk / bag / pencil case / pocket? How many pencils? Let's count together. などと尋ねたり声をかけたりして児童とやり取りをしながら進める。 ・児童用テキスト p.18, 19 を開かせ、誌面の文房具の中で自分の持っている物はないか尋ねるなどして、児童の興味を高める。また、児童の答えやつぶやきにに応じて、誌面にある文房具の言い方を紹介する。その際、デジタル教材で音声を聞かせてもよい。 ・指導者があらかじめ校内のある先生などのために作成しておいた文房具セットを理由とともに紹介する。また、本単元終末には、このようにみんなもある人のために文房具セットを作ることを告げ、単元の見通しをもたせるようにする。	かばん さまざまな文房具など デジタル教材 児童用テキスト 文房具セット (ワークシート Unit 5-1, 5-2 を切り取って作成)
<p>T : Look. This is for ○○ <i>sensei</i>. I have three blue pencils. One eraser. I have a blue ruler. I have a blue stapler. Two notebooks. One blue marker. ○○ <i>sensei</i> likes blue.</p>			
		(ここで三人称を使っているが、このことに関して説明したり、児童にその言い方を教えたりする必要はない。児童がどうして指導者がそのような文房具セットにしたのかという理由＝「内容」に注目させる。)	
10分	【Let's Watch and Think 1】 p.18 ・文房具の言い方を知り、その数を数える。	・映像内容は、2人の子供がお店屋さんごっこをしている場面4種類である。 ・まずデジタル画面で誌面 p.18, 19 を映し、文房具の言い方を確認し、それがいくつあるかと尋ねたうえで映像を見せることで、映像への興味を高める。	デジタル教材

		<p>① A : Welcome to my shop. I have notebooks, calendars, staplers and pencil cases. B : Wonderful. How many notebooks? A : Well, let's count together. One, two, three, four, five, six. Six notebooks!</p> <p>② A : Here is my shop. I have some markers, pencil sharpeners and staplers. B : Pretty. How many markers? A : One, two, three, four, five, six, seven. Yes, I have seven markers and I have six colors.</p> <p>③ A : This is my shop. Welcome. I have pencils, erasers, glue sticks and pens. B : Wow! How many erasers? A : One, two, three, four, five, six, seven, eight. Eight erasers.</p> <p>④ A : Come on in! This is my shop. I have some pencil cases, magnets, notebooks and markers. B : Great. How many magnets? A : One, two, three, four, five, six, seven, eight, nine. Nine magnets.</p>	
<p>15分</p>	<p>【Let's Play 1】 I spy ゲーム p.19</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者のヒントを聞いて、自分の持ち物から該当するものを探して言う。 ・指導者の質問に答える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の持ち物を見せながら、児童の持ち物から同じものを探させる。Do you have a pencil? Where is it? (片手を目の上にかざして、探しているジェスチャーをしながら) さまざまな文房具で行い、児童の身の回りにある文房具を確認させたいうで行う。 	<p>さまざまな文房具など 教師用カード (文房具)</p>
<p>5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 ○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2) ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。 ・児童と一緒に歌う。 ・挨拶をする。 	<p>振り返りカード デジタル教材</p>

4年 Unit 5—Lesson 2 Do you have a pen? おすすめの文房具セットをつくろう 2/4時間

目 標 文房具などの学校で使う持ち物を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。

準 備 児童用テキスト, 教師用カード (文房具), 児童用カード (文房具), ワークシート (Unit 1-2: ビンゴシート, Unit 5-1, 5-2), デジタル教材, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする	・全体に挨拶して, 個別にも挨拶をする。	
8分	OBINGO ゲーム BINGO ゲームの進め方 ・各児童はビンゴシートワークシート (Unit 1-2) のマスに, 児童用カード (文房具) を並べる。 ・指導者が Do you have ~ (文房具)? と尋ね, 児童は Yes, I do. / No, I don't. と答えながら, その文房具の絵カードがあれば裏返す。縦, 横, 斜めのどれか1列がそろえばビンゴとなる。慣れてきたら代表児童や指名した児童が指導者の代わりに言う。	・前時と同様に行う。	教師用カード (文房具) 児童用カード (文房具) ワークシート (Unit 1-2: ビンゴシート)
12分	○カード・デスティニー・ゲーム カード・デスティニー・ゲームの進め方 ・児童は, 自分の筆箱の中に入れてたいものを, 9種類の児童用巻末絵カードから5種類選んで持つように言う。 ・指導者は, Do you have ~ (文房具)? と児童に尋ねる。その文房具の絵カードを持っている児童は, そのカードを机に出す。5枚すべてのカードがなくなったらあがり。 <やり取りの例> T : Do you have a pencil? S1, 2, 3: Yes, I do. (机に鉛筆絵カードを出す) T : Good. Next, do you have a marker? S4 : Yes, I do. (机にマーカーの絵カードを出す) S1, 2, 3: No, I don't. T : Only S4? Good.	◎文房具などの学校で使う持ち物の質問に答えている。<行動観察・振り返りカード点検>	児童用カード (文房具)
4分	[Let's Chant] Do you have a pen? p.19 ・ペアで, 自分の立場で答える形でチャンツを言う。	・まず, 最初は数回聞かせ, ペアで1人が質問し, もう1人が答えるという形でチャンツを言わせる。答える側は, 自分が前活動で選んだ文房具品について自分の立場で答えて言うよう指示する。	デジタル教材 前活動で使ったカード (文房具)

Do you have a pen? Yes, I do.
 Do you have an eraser? No, I don't.
 Do you have a pencil case? Yes, I do.
 Do you have an eraser? No, I don't.
 Do you have a ruler? Yes, I do.
 Do you have an eraser? No, I don't.
 Do you have a pen? Yes, I do.
 Do you have an eraser? No, I don't.
 Do you have a stapler? Yes, I do.
 Do you have an eraser? Yes, I do! Look, ten erasers!

14分	<p>【Let's Listen】 p.20</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆箱の中身の紹介を聞き, 誰の筆箱かを考えて番号に名前を書く。 ・筆箱の中身について指導者の質問に答えたり, ペアでやり取りしたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の文房具の数や色に注意して聞くように伝えるなど, 聞こうとする意欲を高めるようにする。 ・児童の実態に応じて, 誌面の4種類の筆箱の中の文房具を確認してから, 音声を聞かせるとよい。 ・聞いて終わりにせず, 筆箱の中身を題材に児童とやり取りをする。やり取りをしながら, 文房具について尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しませ, 児童自ら I have ~. というよう促す。 	デジタル教材 児童用テキスト
<p>Sayo : Hi, everyone. I'm Sayo. Please find my pencil case. I have one eraser, one ruler, two pencils and two pens, red and blue. Can you find my pencil case? (解答 No.2)</p> <p>Takeru: Hi, I'm Takeru. Please find my pencil case. I have one eraser, one pencil and three pens, red, yellow and purple. Can you find my pencil case? (解答 No.3)</p> <p>Hinata: Hello, everyone. I'm Hinata. Please find my pencil case. I have one ruler, one glue stick, two pencils and two pens, red and pink. Can you find my pencil case? (解答 No.4)</p> <p>Robert: Hi, I'm Robert. Please find my pencil case. I have one eraser and four pencils. Two pencils are red and yellow. Can you find my pencil case? (解答 No.1)</p>			
<p>やり取りの例</p> <p>T : What do you have in your pencil case? Ss : Pencil. T : Pencil? I have pencils, too. Look. I have two pencils. How many pencils do you have? S1: Five. T : You have five pencils. I have two pencils. S2, how many pencils do you have? S2: Three. T : Good. You have three pencils. I have two pencils. S3, how about you? S3: I have three pencils. T : Very good. You have three pencils. ・ペアで持っているものについて尋ね合うよう言う。 S1: Do you have ~? S2: Yes, I do. Do you have ~? S1: No, I don't.</p>			
		◎文房具などの学校で使う持ち物の質問に答えている。〈行動観察・振り返りカード点検〉	
5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返り, 振り返りカードに記入する。 ○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2) ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。 ・児童と一緒に歌う。 ・挨拶をする。 	振り返りカード デジタル教材

4年 Unit 5—Lesson 3 Do you have a pen? おすすめの文房具セットをつくろう 3/4時間

目 標 文房具など学校で使う物について、尋ねたり答えたりして伝え合う。

準 備 児童用テキスト, 教師用カード (文房具), 児童用カード (文房具), デジタル教材, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ①評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶して、個別にも挨拶をする。	
2分	【Let's Chant】 Do you have a pen? p.19 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> Do you have a pen? Yes, I do. Do you have an eraser? No, I don't. Do you have a pencil case? Yes, I do. Do you have an eraser? No, I don't. Do you have a ruler? Yes, I do. Do you have an eraser? No, I don't. Do you have a pen? Yes, I do. Do you have an eraser? No, I don't. Do you have a stapler? Yes, I do. Do you have an eraser? Yes, I do! Look, ten erasers! </div>	・児童と一緒に言う。	デジタル教材
10分	【Let's Watch and Think 2】 p.20 ・世界の子供たちがかばんの中に持っている物を知り、自分たちの持ち物と比べて気付いたことを口に記入する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>① Hi, this is my bag. I have a banana. I have an apple. I have sandals, too. I don't have textbooks in my bag. (スウェーデン)</p> <p>② Hello! This is my bag. I have indoor shoes. I have a water bottle. I have color pencils. I have a toothbrush. I don't have textbooks in my bag. (韓国)</p> <p>③ Hi. This is my bag. I have a sandwich, a water bottle and an apple. I also have a folder with my homework. I don't have textbooks in my bag. (アメリカ)</p> </div>	・世界の子供たちのかばんの中身を予想させ、興味を高めてから映像を見せる。 ・視聴後は、共通点や相違点、気付いたことなどを発表させる。また、映像で子供たちがかばんに持っていた物を持っているかどうかを児童に尋ね、持ち物についてのやり取りをして、次の活動につなげるようにする。 ・映像資料で紹介される世界の子供たちのかばんの中には、教科書が入っていない。世界では、教科書を学校に置いておく場合が多いが、日本のように毎日教科書を持って帰ることで、家で復習や予習ができる利点があることをおさえておくことよい。	デジタル教材 児童用テキスト
24分	【Let's Play 2】 p.21 ・ペアの1人が文房具カードを誌面に置いて文房具セットを作り、相手にそれを伝えて同じ文房具セットを作る。	・ペアになり、相手に質問をして同じ文房具セットを作ることを告げる。代表児童とデモンストラーションをして、進め方を理解させる。	児童用テキスト 教師用カード (文房具), 児童用カード (文房具)
	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 進め方 ・ペア (AとB) になり、まずAがどんな文房具セットにしたいかを考えて、誌面に児童用絵カード (文房具) を並べておく。その文房具セットはBに見えないようにしておく。Bは、Aに文房具について Do you have ~?と尋ね、Aの答えに応じて、文具カードを自身の誌面において、Aと同じ文具セットを作る。作り終わった後、AとBの文具セットが同じかを確認する。相手を替えて繰り返す。 </div>		
		◎文房具などの学校で使う物について尋ねたり答えたりして伝え合っている。<行動観察・振り返りカード点検>	

5分	・本時の活動を振り返り, 振り返りカードに記入する。	・児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。	振り返りカード
2分	○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2) ・挨拶をする。	・児童と一緒に歌う。 ・挨拶をする。	デジタル教材

4年 Unit 5—Lesson 4	Do you have a pen? おすすめの文房具セットをつくろう	4/4 時間
目 標	相手に配慮しながら、文房具など学校で使う物について伝え合おうとする。	
準 備	児童用テキスト、文房具セット（第1時に使用）、ワークシート（Unit 5-1, 5-2）から切り取った文房具のカード、紙、デジタル教材、振り返りカード	

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶して、個別にも挨拶をする。	
3分	<p>【Let's Chant】 Do you have a pen? p.19</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Do you have a pen? Yes, I do. Do you have an eraser? No, I don't. Do you have a pencil case? Yes, I do. Do you have an eraser? No, I don't. Do you have a ruler? Yes, I do. Do you have an eraser? No, I don't. Do you have a pen? Yes, I do. Do you have an eraser? No, I don't. Do you have a stapler? Yes, I do. Do you have an eraser? Yes, I do! Look, ten erasers!</p> </div>	・児童と一緒に言う。	デジタル教材
33分	<p>【Activity】 文房具セットをおくろう。 p.21</p> <p>・身近な人のために文房具セットを作る。 ・誰のためにどのようなセットを作ったかを紹介する。理由が複雑な場合は、日本語で紹介する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>紹介例 This is for S1. I have two red pencils. I have one blue stapler. I have one light blue notebook. One marker. One red marker. One glue stick. One eraser. S1 は物を作るのが好きなので、いろいろな文房具を入れました。</p> </div>	<p>・誰かのために文房具セットを作ることを告げ、第1時で指導者が紹介した〇〇先生のために作成した文房具セットを理由とともに再度紹介する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>T : Look. This is for 〇〇 sensei. I have three blue pencils. One eraser. I have a blue ruler. I have a blue stapler. Two notebooks. One blue marker. 〇〇 sensei likes blue.</p> </div> <p>・ALT 等がいれば、カードの集め方のデモンストレーションをする。ALT 等がいなければ代表児童とやって見せ、理解させるようにする。 ・文房具カードの文房具にはすでに色がついているが、児童の自由な発想をいかすため、その上に重ねて色を塗らせてもよい。</p>	<p>児童用テキスト 文房具セット（第1時に使用） ワークシート （Unit 5-1, 5-2） から切り取った文房具のカード多数、紙</p>
	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の身近の人のために文房具セットを作る。 ・お店屋さんごっこの要領で、文房具品を渡す側ともらう側に分かれる。 ・Do you have ~? Yes, I do. Here you are. / No, I don't. Sorry. でやり取りをして必要なものを集める。 ・紙に集めた絵カードを貼って、文房具セットを完成させる。 ・グループ内で、誰のためにどのような文房具セットを作ったかを紹介する。 ・代表児童が、みんなの前で誰のためにどのような文房具セットを作ったかを紹介する。 </div>	◎相手に配慮しながら、文房具など学校で使う物について伝え合おうとする。〈行動観察・振り返りカード点検〉	
5分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。	・児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。	振り返りカード
2分	<p>○歌 Goodbye Song（3年 Unit 2）</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・児童と一緒に歌う。</p> <p>・挨拶をする。</p>	デジタル教材

4年—Unit 6 単元名 Alphabet アルファベットで文字遊びをしよう

1. 単元目標

- ・身の回りには活字体の文字で表されているものがあることに気付き、活字体の小文字とその読み方に慣れ親しむ。(知識及び技能)
- ・身の回りにあるアルファベットの文字クイズを出したり答えたりする。(思考力・判断力・表現力等)
- ・相手に配慮しながら、アルファベットの文字について伝え合おうとする。(学びに向かう力・人間性等)

2. 言語材料

- Look. What's this? Hint, please. How many letters? I have (six). Do you have (a "b")? Yes, I do. / No, I don't. That's right. Sorry. Try again.
- 小文字 (a~z), letter, try, again, bookstore, juice, news, school, station, taxi, telephone
[既出] What do you want? up, down, left, right, look, shop, 数 (1~60), 大文字 (A~Z), 身の回りの物など

3. 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ウ 文字の読み方が発音されるのを聞いた際に、どの文字であるかが分かるようにする。
話すこと (やり取り)	ウ サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりするようにする。

4. 単元計画 (4時間)

時	目標 (◆) と主な活動 (□, ○) 【 】 = 誌面化されている活動	◎評価の観点<方法>
1	<p>◆身の回りには活字体の文字で表されているものがたくさんあることに気付き、活字体の小文字とその読み方に慣れ親しむ。</p> <p>○これは何かな。 ・指導者の質問に答える。 ・大文字の読み方を思い出して言う。</p> <p>○どこにあるかな。 ・誌面から、さまざまな文字、看板を見つけて発表する。 ・指導者が言う文字を探して発表する。</p> <p>【Let's Watch and Think】 p.22 ・身の回りにある看板や表示を見て、アルファベットの小文字を知る。</p> <p>【Let's Sing】 ABC Song p.23 ・音楽に合わせて歌う。</p> <p>○ポインティング・ゲーム ・個人で行う。指導者の後について文字の名称を言う。</p> <p>○ミッシング・ゲーム 【Let's Chant】 Alphabet Chant p.23</p> <p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2)</p>	<p>◎身の回りには活字体の文字で表されているものがたくさんあることに気付いている。〈行動観察・振り返りカード分析〉</p> <p>※小文字に慣れ親しむという目標に向かって指導は行うが、評価の記録は残さない。次時に合わせて、小文字に慣れ親しんだかどうかの評価記録を残す。</p>
2	<p>◆活字体の小文字とその読み方に慣れ親しむ。</p> <p>【Let's Sing】 ABC Song p.23</p> <p>【Let's Chant】 Alphabet Chant p.23</p> <p>【Let's Play 1】 p.23</p>	

	<ul style="list-style-type: none"> ・誌面にある街のイラストからアルファベットの小文字を探して指さす。 【Let's Play 2】 p.23 ・誌面の周りにある小文字を使っておはじきゲームをする。 ○マッチング・ゲーム ・大文字と小文字を対応させる。 ○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2) 	◎活字体の小文字の読み方を聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉
3	<p>◆身の回りにあるアルファベットの文字について尋ねたり答えたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 【Let's Sing】 ABC Song p.23 【Let's Chant】 Alphabet Chant p.23 ○BINGO ゲーム 【Let's Listen】 p.24 ・児童用テキスト p.22, 23 を見ながら、指導者が出す Who am I? Quiz を聞いて、それがどの表示や看板かを考えて答える。 ・次に、児童用テキスト p.24 で Let's Listen の音声を聞いて、誌面にあるどの看板や表示かを考えて番号を□に記入する。 ○アルファベット文字クイズ ・ペアで身の回りにあるアルファベットの文字クイズをする。 ○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2) 	◎身の回りにあるアルファベットの文字について尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉
4	<p>◆相手に配慮しながら、アルファベットの文字について伝え合おうとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 【Let's Chant】 Alphabet Chant p.23 【Activity 1】 p.25 ・5つの表示から1つ選び、ペアになって文字について尋ね合い、相手の表示を考えて答える。 【Activity 2】 p.25 ・児童用テキストの10色のなかから好きな色を1つ選び、ペアになって文字について尋ね合い、相手の色を考えて答える。 ○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2) 	◎相手に配慮しながら、アルファベットの文字について伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉

<p>4年 Unit 6—Lesson 1 Alphabet アルファベットで文字遊びをしよう 1/4 時間</p> <p>目 標 身の回りには活字体の文字で表されているものがたくさんあることに気づき、活字体の小文字とその読み方に慣れ親しむ。</p> <p>準 備 児童用テキスト、身の回りにあるアルファベット大文字で表示されたものやその写真、教師用カード（大文字・小文字）、デジタル教材、振り返りカード</p>
--

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
22分	<p>○これは何かな。</p> <p>・指導者の質問に答える。</p> <p>・大文字の読み方を思い出して言う。</p>	<p>・指導者はあらかじめ児童の身の回りや地域にある、大文字で表示されたロゴや標識、アニメなどのキャラクター名などが書かれたものやその写真、お菓子の箱にあるラベルなどを用意しておく。</p> <p>・まず、黒板にそれらのアルファベットの大文字をゆっくり書き、児童にそれらが何かを尋ねる。</p> <p>例：KOBAN, P, 駅名, 地名看板, NHK, TEL 等</p> <p>・身の回りにはアルファベットの文字で表されているものがたくさんあることに気付かせるのがねらいである。児童と確認しながら大文字カードを黒板に掲示する。また、児童の持ち物などからもアルファベットの文字で記されているものを探させる中で、すでに3年生時に学習したローマ字で扱った小文字の存在にも気付かせるようにする。</p> <p>◎身の回りには活字体の文字で表されているものがたくさんあることに気付いている。〈行動観察・振り返りカード分析〉</p>	<p>身の回りにあるアルファベット大文字で表示されたものやその写真</p> <p>教師用カード（大文字・小文字）</p>
	<p>○どこにあるかな。</p> <p>・誌面から、さまざまな文字、看板を見つけて発表する。</p> <p>・指導者が言う文字を探して発表する。</p> <p>【Let's Watch and Think】 p.22</p> <p>・身の回りにある看板や表示を見て、アルファベットの小文字を知る。</p>	<p>・児童用テキスト p.22, 23 を開かせ、どのような文字があるかを発表させる。文字の名称を言い、それがどこにあるか探させる。また、活字体以外の筆記体に気付かせ、次の活動につなげる。</p> <p>・前活動を生かして、映像資料を視聴させ、音声と一緒に文字の読み方（名称）を言うよう促す。</p>	<p>デジタル教材</p> <p>児童用テキスト</p>

- | | |
|--|---|
| <p>① A : Look! What is that sign?
B : Which one? How many letters?
A : Six letters, well, P-O-L-I-C-E.
B : Oh, that's the police box.</p> <p>② A : Look! What's that display? B-O-O-K-S-T-O-R-E.
B : Oh, that's the bookstore.
A : Really? I like books. Let's go to the bookstore.</p> <p>③ A : Hurry up! I want to catch a taxi.
B : Then, please find a car with a T-A-X-I sign on it.
A : T-A-X-I, taxi! I got it.</p> | <p>④ A : Look, what is "P" on that building?
B : Oh, a big green "P"?
A : Yes.
B : "P" is a "parking."</p> <p>⑤ A : Let's meet at the bus stop at nine, OK?
B : Sorry, please repeat that.
A : Let's meet at the bus stop, B-U-S S-T-O-P.
B : I see, let's meet at the bus stop at nine. See you.</p> |
|--|---|

3分	【Let's Sing】ABC Song p.23 ・音楽に合わせて歌う。	・児童と一緒に歌う。 ・Z はイギリス英語とアメリカ英語では読み方が異なることに触れる。	デジタル教材 教師用カード (小文字)
a, b, c, d, e, f, g, h, i, j, k, l, m, n, o, p, q, r, s, t, u, v, w, x, y, z. Happy, happy, I'm happy. I can sing my abc.			
10分	○ポインティング・ゲーム ・個人で行う。指導者の後について文字の名称を言う。 ○ミッシング・ゲーム	・児童用テキスト p.14, 15 の周りにある小文字を使って、ポインティング・ゲームをする。 ・文字の名称を言う、あるいはデジタル教材を使って名称を聞かせてもよい。	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード (小文字)
ミッシング・ゲームの進め方 ・1～8枚の教師用カード (小文字) を児童とその読み方を確認しながら黒板に掲示する。全てのカードの読み方を再度、児童と確認しながら外し、指導者はその中から1枚カードを除く。取り除いたカード以外を再度黒板に掲示しながら児童と一緒に読み方を確認していく。最後に、児童が黒板にないカードが何かを考えて言う。隠すカードは1枚から始め4枚程度 (実態に応じて) にするとよい。 ・初めは、f, g, h, i, j, k, l, m などのようにアルファベット順の連続した文字を選択し、児童が慣れてきたら、アランダムに文字を選択するとよい。 ・黒板にカードを掲示してから児童に目を閉じさせ、指導者がカードを1～4枚抜き、児童に目を開けさせ、隠されたカードが何かを児童に考えさせて発表させる方法もある。			
3分	【Let's Chant】Alphabet Chant p.23	・児童と一緒に言う。	デジタル教材 教師用カード (小文字)
① abcdefg, hijklmn, opqrstu, v, w, x, y, z. ② abc, abc, abcdefg, hij, hij, hijklmn, opq, opq, opqrstu, v, w, x, y, z. ③ ab, abc, abcdefg, hi, hij, hijklmn, op, opq, opqrstu, v, w, x, y, z.			
5分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 ○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2) ・挨拶をする。	・児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。 ・児童と一緒に歌う。 ・挨拶をする。	振り返りカード デジタル教材

※小文字に慣れ親しむという目標に向かって指導は行うが、評価の記録は残さない。次時に合わせて、小文字に慣れ親しんだかどうかの評価記録を残す。

4年 Unit 6—Lesson 2 Alphabet アルファベットで文字遊びをしよう 2/4 時間

目 標 活字体の小文字とその読み方に慣れ親しむ。

準 備 児童用テキスト, 教師用カード (大文字・小文字), 児童用カード (大文字・小文字), デジタル教材, おはじき, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
3分	<p>【Let's Sing】 ABC Song p.23</p> <p>a, b, c, d, e, f, g, h, i, j, k, l, m, n, o, p, q, r, s, t, u, v, w, x, y, z. Happy, happy, I'm happy. I can sing my abc.</p> <p>【Let's Chant】 Alphabet Chant p.23</p> <p>① abcdefg, hijklmn, opqrstu, v, w, x, y, z. ② abc, abc, abcdefg, hij, hij, hijklmn, opq, opq, opqrstu, v, w, x, y, z. ③ ab, abc, abcdefg, hi, hij, hijklmn, op, opq, opqrstu, v, w, x, y, z.</p>	<p>・児童と一緒に歌う。</p> <p>・小文字カードを児童と言いながら黒板に掲示してから、チャンツを児童と一緒に言う。</p>	デジタル教材 教師用カード (小文字)
15分	<p>【Let's Play 1】 p.23</p> <p>・誌面にある街のイラストからアルファベットの小文字を探して指さす。</p> <p>【Let's Play 2】 p.23</p> <p>・誌面の周りにある小文字を使っておはじきゲームをする。</p> <p>進め方</p> <p>・児童は自分のテキストの誌面にあるアルファベットの小文字から5つ選んで、その上におはじきを置く。指導者は、26枚の教師用カード (小文字) から10枚選んで持ち、児童にはどの文字かは見せない。</p> <p>・児童が、Do you have ~? と尋ね、指導者が Yes, I do. I have ~. / No, I don't. Sorry. と答え、指導者が持っているアルファベットにおはじきを置いていたら、そのおはじきを取る。おはじきがなくなった人があがり。</p>	<p>・誌面 p.22, 23 を開かせ、指導者が言ったり、デジタル教材を聞かせたりして、アルファベットの文字を探させる。慣れてきたら、出題者を児童にしてもよい。</p> <p>・デモンストレーションをして、進め方を理解させる。</p> <p>◎活字体の小文字の読み方を聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	デジタル教材 児童用テキスト おはじき 教師用カード (小文字)
20分	<p>○マッピング・ゲーム</p> <p>・大文字と小文字を対応させる。</p>	<p>・教師用カード (大文字) を黒板にアルファベット順に並べながら、児童と一緒にその名称を言う。</p> <p>・教師用カード (小文字) を大文字の下に並べながら、児童と一緒にその名称を言う。</p> <p>・次に、児童の実態に応じて、次の活動をペアやグループで行う。個別に支援をする。</p>	教師用カード (大文字・小文字) 児童用カード (大文字・小文字)

	<p>進め方</p> <p>(方法1) 児童はペアで児童用カードの大文字1セット, 小文字1セットずつ用意し, すべてをシャッフルする。指導者の合図で, ペアで協力してそれらを大文字・小文字に分類してアルファベット順に並べる。</p> <p>(方法2) 児童のペア (A, B) で, シャッフルされた大文字・小文字カードから10枚ずつ相手に見えないように持つ。残りのカードは, 文字を下にして中央に束にしておく。手持ちのカードで大文字・小文字のペアがそろえば出す。相手と次のようなやり取りをして, 大文字・小文字のペアをそろえて出し, 手持ちのカードがなくなったほうが勝ち。</p> <p>A: Do you have a “b”?</p> <p>B: Yes, I do. Here you are. (Aは手持ち「B」カードと合わせて, 出す。Bは束から1枚取る)</p> <p>B: Do you have a “c”?</p> <p>A: No, I don't. Sorry. (Bは束から一枚取る)</p>		
		<p>◎活字体の小文字の読み方を聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	
5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返り, 振り返りカードに記入する。 ○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2) ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。 ・児童と一緒に歌う。 ・挨拶をする。 	<p>振り返りカード</p> <p>デジタル教材</p>

4年 Unit 6—Lesson 3	Alphabet	アルファベットで文字遊びをしよう	3/4 時間
目 標 身の回りにあるアルファベットの文字について尋ねたり答えたりする。			
準 備 児童用テキスト, 教師用カード (小文字), 児童用カード (小文字), ワークシート (Unit 1-2, 1-3 : ビンゴシート), 身の回りの物など, デジタル教材, 振り返りカード			

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶をし, 個別に数名の児童に挨拶をする。	デジタル教材
4分	<p>[Let's Sing] ABC Song p.23</p> <p>a, b, c, d, e, f, g, h, i, j, k, l, m, n, o, p, q, r, s, t, u, v, w, x, y, z. Happy, happy, I'm happy. I can sing my abc.</p> <p>[Let's Chant] Alphabet Chant p.23</p> <p>① abcdefg, hijklmn, opqrstu, v, w, x, y, z. ② abc, abc, abcdefg, hij, hij, hijklmn, opq, opq, opqrstu, v, w, x, y, z. ③ ab, abc, abcdefg, hi, hij, hijklmn, op, opq, opqrstu, v, w, x, y, z.</p>	・児童と一緒に歌ったり, 言ったりする。	デジタル教材 教師用カード (小文字)
10分	<p>OBINGO ゲーム</p> <p>BINGO ゲームの進め方</p> <p>・児童は自分の小文字カードから 16 枚選び, ビンゴシート縦4×横4に並べ, ビンゴシートを作る。</p> <p>・指導者は 26 枚の小文字カードから 10 枚選び, 文字を児童に見せないように持つ。</p> <p>・児童が Do you have ~? で尋ね, 指導者が Yes, I do. I have ~. と答えたアルファベット小文字カードを持っていれば, そのカードを裏返す。指導者は, 尋ねられたアルファベット小文字カードを持っていなければ, No, I don't. と答える。</p> <p>・縦, 横, 斜めの一列のカードが裏返れば, ビンゴとなる。</p>		教師用カード (小文字) 児童用カード (小文字) ワークシート (Unit 1-2, 1-3 : ビンゴシート)
9分	<p>[Let's Listen] p.24</p> <p>・児童用テキスト p.22, 23 を見ながら, 指導者が出す Who am I? Quiz を聞いて, それがどの表示や看板かを考えて答える。</p> <p>・次に, 児童用テキスト p.24 で Let's Listen の音声を聞いて, 誌面にあるどの看板や表示かを考えて番号を□に記入する。</p>	<p>・児童用テキスト p.22, 23 で Who am I? Quiz をすることを告げる。</p> <p>・Let's Listen の音声を聞かせる前に, 児童の実態に応じて, 指導者が簡単なクイズを出して, 児童が答えの見つけ方を理解できるようにする。</p> <p>・Let's Listen の1問目は, 1文ずつ止めて聞かせたりするなど, 児童が「わかった」という達成感をもてるように聞かせ方を工夫する。</p> <p>・児童の実態に応じて, このクイズを参考に児童用テキスト p.22, 23 の街全体で同様の活動を行う。</p>	児童用テキスト デジタル教材
15分	<p>○アルファベット文字クイズ</p> <p>・ペアで身の回りにあるアルファベットの文字クイズをする。</p> <p>アルファベット文字クイズの進め方</p> <p>・ペアになり, 各自が誌面 p.14, 15 の看板や表示のなかから1つ選ぶ。あるいは, 身の回りの物にあるアルファベット文字表示から1つ選ぶ。</p> <p>・ペアの相手に, I have four letters. I have a "T" and an "X". などと Let's Listen と同じ流れで伝え, 相手はそれをヒントにどの看板や表示かを考えて答える。身の回りの物について出題する場合には, 文字以外に色, カテゴリーなどのヒントも出すようにする。</p>	・前活動の進め方を参考に, 誌面 p.22, 23 にある表示や身の回りにある表示について, ペアでヒントを出したり, ヒントを聞いてそれが何かを答えたりするよう告げる。	児童用テキスト 身の回りの物など

		◎身の回りにあるアルファベットの文字について尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉	
5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返り, 振り返りカードに記入する。 ○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2) ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。 ・児童と一緒に歌う ・挨拶をする。 	振り返りカード デジタル教材

4年 Unit 6—Lesson 4 Alphabet アルファベットで文字遊びをしよう 4/4時間

目 標 相手に配慮しながら、アルファベットの文字について伝え合おうとする。

準 備 児童用テキスト、教師用カード（小文字）、デジタル教材、振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
1分	<p>【Let's Chant】 Alphabet Chant p.23</p> <p>① abcdefg, hijklmn, opqrstu, v, w, x, y, z. ② abc, abc, abcdefg, hij, hij, hijklmn, opq, opq, opqrstu, v, w, x, y, z. ③ ab, abc, abcdefg, hi, hij, hijklmn, op, opq, opqrstu, v, w, x, y, z.</p>	・児童と一緒に言う。	デジタル教材 教師用カード（小文字）
10分	<p>【Activity 1】 p.25</p> <p>・5つの表示から1つ選び、ペアになって文字について尋ね合い、相手の表示を考えて答える。</p> <p>進め方</p> <p>・ペア（AとB）になり、Aは誌面にある5つの表示から1つ選ぶ。 ・BがDo you have a～?と尋ね、Aは選んだ表示にその文字が含まれているかどうかをYes, I do. / No, I don't. で返答する。 ・Bはその答えからAが選んだ表示が何かを考えて答える。 ・ペアの相手を替えて数回行う。 ・児童の実態に応じて、児童用テキスト p.22, 23 の表示などで行ってもよい。</p>	・デモンストレーションで代表児童に1つの表示を選ばせ、指導者がDo you have a～?と尋ねる。他の児童にも一緒に質問するように促しながら、進め方を理解させる。	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード（小文字）
27分	<p>【Activity 2】 p.25</p> <p>・児童用テキストの10色の中から好きな色を1つ選び、ペアになって文字について尋ね合い、相手の色を考えて答える。</p> <p>あやめ：What's my favorite color? Please guess. れん：OK. Do you have a "w"? あやめ：No, I don't. I don't have a "w." れん：Do you have a "p"? あやめ：No, I don't. I don't have a "p." れん：Do you have an "r"? あやめ：No, I don't. I don't have an "r." れん：Umm. Do you have a "b"? あやめ：Yes, I do. I have a "b." れん：Wow! Do you have an "e"? あやめ：Yes, I do. I have an "e." れん：I got it. "Blue." あやめ：That's right. I like blue.</p>	<p>・Activity 1と同様の進め方で、好きな色を題材にして行う。</p> <p>・デジタル教材で登場人物の「あやめ」と「れん」のやり取りのモデルを聞かせてから行うとよい。</p> <p>・難易度を上げるために、当てる側の質問回数を2回までとするなど、児童がより意欲をもって尋ね合うことができるように児童の実態に合わせてルールを工夫する。</p> <p>・相手を替えて何度も繰り返すために、それぞれの色が好きな友達を見つけるよう呼びかけるなど、児童が意欲的に伝え合うことができるようにする。</p> <p>・途中で活動を止め中間評価を行い、よいやり取りをしているペアにやり取りを再現させ、学級全体でよいところを確認するなどして、後半の活動がよりねらいに沿ったものになるようにする。</p> <p>◎相手に配慮しながら、アルファベットの文字について伝え合っている。</p> <p><行動観察・振り返りカード点検></p>	デジタル教材 児童用テキスト
5分	<p>・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。</p> <p>○歌 Goodbye Song（3年 Unit 2）</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。</p> <p>・児童と一緒に歌う。</p> <p>・挨拶をする。</p>	振り返りカード デジタル教材

4年—Unit 7 単元名 What do you want? ほしいものは何かな？

1. 単元目標

- ・食材の言い方や、欲しいものを尋ねたり要求したりする表現に慣れ親しむ。(知識及び技能)
- ・欲しい食材などを尋ねたり要求したりするとともに、考えたメニューを紹介し合う。(思考力、判断力、表現力等)
- ・相手に配慮しながら、自分のオリジナルメニューを紹介しようとする。(学びに向かう力、人間性等)

2. 言語材料

- What do you want? I want (potatoes), please. How many? (Two), please. Here you are. Thank you.
- 果物・野菜(vegetable, potato, cabbage, corn, cherry), 飲食物 (sausage)

[既出] What's this? It's (a fruit). Do you have (a pen)? Do you like (blue)? Yes, I do. / No, I don't. I [have / don't have] (a pen). 果物・野菜, 飲食物, 数 (1~60)

3. 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。
話すこと (発表)	ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。

4. 単元計画 (5時間)

時	目標 (◆) と主な活動 (【】 , ○) 【 】 = 誌面化されている活動	◎評価の観点<方法>
1	<p>◆食材の言い方や、欲しい物を尋ねたり要求したりする表現に慣れ親しむ。</p> <p>○チャンツ Alphabet Chant (Unit 6)</p> <p>○何があるかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童用テキスト p.26, 27 を見て、知っている食材を発表する。 <p>【Let's Watch and Think】 p.27</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の市場の様子を見て、世界にはさまざまな食材があること、自分たちと同じ食べ物も食材になっていることを知る。 <p>【Activity 1】 p.28</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代表児童と指導者の、フルーツパフェをつくる際のやり取りを聞いて理解する。 ・指導者と代表児童、代表児童どうしとのやり取りを見たり、一緒に尋ねたり答えたりする。 <p>【Let's Chant】 What do you want? p.27</p> <p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2)</p>	<p>※目標に向かって指導を行うが、評価の記録は次時と合わせて行う。</p>
2	<p>◆欲しい物を尋ねたり要求したりする表現に慣れ親しむ。</p> <p>【Let's Chant】 What do you want? p.27</p> <p>【Activity 1】 p.28</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアになり、やり取りをしてパフェを作る。 <p>【Let's Listen 1】 p.28</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物が自分のフルーツパフェの中身を紹介するのを聞き、線で結ぶ。 <p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2)</p>	<p>◎欲しい物を尋ねたり要求したりしている。<行動観察・振り返りカード点検></p>

3	<p>◆フルーツパフェについて紹介したり、欲しい物を尋ねたり要求したりして伝え合う。</p> <p>【Let's Chant】 What do you want? p.27 【Activity 1】 p.28 ・前時に作ったパフェを紹介し合う。 ・やり取りをしてほしいパフェを伝える。</p> <p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2)</p>	<p>◎フルーツパフェについて伝え合っている。 <行動観察・振り返りカード点検></p> <p>◎欲しい物を尋ねたり要求したりして伝え合っている。<行動観察・振り返りカード点検></p>
4	<p>◆食材について欲しい物を尋ねたり答えたりして伝え合う。</p> <p>【Let's Chant】 What do you want? p.27 【Let's Listen 2】 p.29 ・音声を聞いて缶詰イラストと文字を線で結ぶ。 【Activity 2】 p.29 ・誰のためにどんなピザを作るかを考え、やり取りをして食材を集めてオリジナルピザを作る。</p> <p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2)</p>	<p>◎食材について欲しい物を尋ねたり答えたりして伝え合っている。<行動観察・振り返りカード点検></p>
5	<p>◆相手に配慮しながら、自分のオリジナルピザを紹介しようとする。</p> <p>【Let's Chant】 What do you want? p.27 【Activity 2】 p.29 ・前時に作成したオリジナルピザを紹介する。</p> <p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2)</p>	<p>◎相手に配慮しながら、自分のオリジナルピザを紹介している。<行動観察・振り返りカード点検></p>

4年 Unit 7—Lesson 1 What do you want? ほしいものは何かな? 1/5 時間

目 標 食材の言い方や、欲しい物を尋ねたり要求したりする表現に慣れ親しむ。

準 備 児童用テキスト, 教師用カード (野菜・果物), デジタル教材, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ①評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。 ○チャンツ Alphabet Chant (Unit 6)	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 ・児童と一緒に言う。	デジタル教材
6分	○何があるかな。 ・児童用テキスト p. 26, 27 を見て、知っている食材を発表する。	・児童用テキスト p. 26, 27 の中から、児童が知っている食材を発表させ、児童の発表やつぶやきを拾いながら、それらの言い方を紹介する。それに合わせて教師用カード (野菜・果物) を黒板に掲示する。ALT 等がいれば ALT 等に発音してもらったり、デジタル教材で音声を聞かせたりしてもよい。 ・児童の実態に応じて、文字を認識する活動として、指導者の言う大文字の看板を探す活動や、大文字の看板を読んでみようという活動を入れてもよい。 (PIZZA, VEGETABLES, FRUITS) ・単に食材を紹介するだけでなく、食材を題材にそれらが好きかどうか尋ねるなど、児童とやり取りをする。	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード (野菜・果物)
7分	[Let's Watch and Think] p.27 ・世界の市場の様子を見て、世界にはさまざまな食材があることを知るとともに、自分たちと同じ食べ物も食材になっていることを知る。	・日本の市場と比べながら、相違点や共通点に気付かせるようにする。1度通して視聴させた後、国別に見せて、映像にある果物などが何かを尋ねたり、それらが好きかを尋ねたりして、児童とやり取りをするようにする。	デジタル教材
<p>① A : Oh, many tomatoes! Oval, circular, long, red or orange. Excuse me, oval red tomatoes, please. B : How many? A : Three, please. B : Here you are. A : Thank you.</p> <p>② A : Many colorful fruit! Pineapples, dragon fruits, bananas. Excuse me, pineapples, please. B : How many? A : Two, please. B : Here you are. A : Thank you.</p> <p>③ A : So many vegetables! Cucumbers, mushrooms and tomatoes. Excuse me, cucumbers, please. B : How many? A : Five, please. B : Here you are. A : Thank you.</p>			
20分	[Activity 1] p.28 代表児童と指導者のやり取りを聞いて理	・果物の言い方を児童と確認しながら、黒板に教師用カードを掲示する。その横に、パフェの容器の絵を描き、カードの上に Fruits Parfait Shop と書く。 ・児童に Let's make a delicious fruit parfait. と呼	教師用カード (果物) デジタル教材

	<p>解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者と代表児童，代表児童どうしとのやり取りを見たり，一緒に尋ねたり答えたりする。 	<p>びかけ，代表児童を店員に見立て，デモンストレーションをする。</p> <p>やり取りの例</p> <p>T: I want apples, please. S: Here you are. (りんごの絵カードを指導者に渡す。) T: Thank you. (もらったカードをパフェの容器の上に掲示する。同様に別の果物も頼む。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材 (p.28 Activity 1) で，画面にある果物を児童と確認する。 apple, peach, melon, pineapple, kiwifruit, banana, cherry, strawberry, orange, ice cream ・代表児童を客に見立て，指導者が店員になって What do you want? と代表児童に尋ねる。客役の代表を替えながら繰り返した後，ほかの児童も指導者と一緒に店員として What do you want? と尋ねるよう促す。 ・次に，複数の代表児童に店員役と客役をさせ，やり取りをしてパフェを完成させる。 	
5分	<p>[Let's Chant] What do you want? p.27</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1回目は聞く，2回目は言えるところから言う。3回目は，最後まで言えるところまで言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1回目は映像を視聴させるが，最後の Nice salad. の手前で止める。どんな食材が出てきたかを発表させ，それに応じて，野菜・果物の教師用カードを黒板に掲示する。 potatoes, carrots, onions, cucumbers, bananas ・2回目は，言えるところだけ言うよう指示するが，最後の Nice salad. の手前で止め，いったい何ができるとするかを尋ねる。それを確かめようと呼びかけ，3回目は最初からもう1度言う。 	デジタル教材 教師用カード (野菜・果物)
5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返り，振り返りカードに記入する。 <p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。 ・児童と一緒に歌う。 ・挨拶をする。 	振り返りカード デジタル教材

※目標に向かって指導を行うが，評価の記録は次時と合わせて行う。

Unit 7—Lesson 2 What do you want? ほしいものは何かな? 2/5時間

目 標 欲しい物を尋ねたり要求したりする表現に慣れ親しむ。

準 備 児童用テキスト, 教師用カード (野菜・果物), 事前に作っておいたフルーツパフェのワークシート (Unit 7-1, 7-2), B5判用紙 (各児童1枚: パフェ台紙), のり (各児童), デジタル教材, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
5分	<p>・挨拶をする。</p> <p>【Let's Chant】 What do you want? p.27</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>What do you want? I want potatoes (carrots, onions, cucumbers, bananas), please. How many? Two, please. Here you are. Thank you. Nice salad!</p> </div>	<p>・全体に挨拶をし, 個別に数名の児童に挨拶をする。</p> <p>・児童と一緒に歌う。</p>	<p>デジタル教材</p> <p>教師用カード (野菜・果物)</p>
25分	<p>【Activity 1】 p.28</p> <p>・指導者と代表児童のやり取りを見て, 前学習内容を思い出す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>あやめ: What do you want? れん: I want a strawberry, please. あやめ: OK. How many strawberries? れん: Three, please. あやめ: Three? OK. Here you are. れん: Thank you. あやめ: You're welcome.</p> </div>	<p>・前時に行った活動を数名の児童と行い, 想起させる。</p> <p>・指導者は, 事前に作っておいた自身のパフェを紹介しながら, お店屋さんごっこの要領でパフェを作ろうと呼びかける。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>パフェの紹介例</p> <p>Look. This is my fruit parfait. I have two apples, seven strawberries, and ice cream. I like strawberries very much. This is 'Gorgeous Spring Parfait'.</p> </div>	<p>デジタル教材</p> <p>教師用カード (野菜・果物)</p> <p>事前に作っておいたフルーツパフェのワークシート (Unit 7-1, 7-2)</p> <p>B5判用紙 (各児童1枚: パフェ台紙のり (各児童))</p>
	<p>・ペアになり, お店屋さんごっこの要領で行う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>やり取りの例</p> <p>S1: What do you want? S2: I want ~, please. S1: OK. How many? S2: Two, please. S1: OK, here you are. What do you want?</p> </div> <p>・出来上がったパフェに名前を付ける。</p>	<p>・ペアになり, お店屋さんとお客さんになる。お店屋さんは, 果物カードを持ち, お客さんとやり取りをする。もらった果物カードは, パフェ台紙にパフェの入れ物の絵を描き, そこに貼ってパフェにする。交代する。</p> <p>・作ったパフェに名前を付けるよう言う。</p> <p>◎欲しい物を尋ねたり要求したりしている。<行動観察・振り返りカード点検></p>	
10分	<p>【Let's Listen 1】 p.28</p> <p>・登場人物が自分のフルーツパフェの中身を紹介するのを聞き, 線で結ぶ。</p>	<p>・3人の登場人物の名前 (Emily, Sayo, Takeru) と, 4種類のフルーツパフェにそれぞれどんな果物などが入っているかを確認する。音声の情報が豊富なため, ここでしっかりと確認させておくことが大切である。その際, 単に確認だけにせず, 児童に Do you like ~? と尋ね, それぞれのパフェの中身について十分やり取りをするようにする。</p>	<p>デジタル教材</p> <p>児童用テキスト</p>

		<ul style="list-style-type: none"> デジタル教材の音声を聞かせ、誌面のパフェと登場人物を線で結ばせる。1つ1つ時間をかけて音声を聞かせ、児童に「分かった」「聞き取れた」と達成感を持たせるようにする。 	
	<p>1 Hi, I'm Emily. Here is my wonderful parfait. I like strawberries, bananas, pineapples, melons and vanilla ice cream.</p> <p>2 Hello, I'm Sayo. Look at my favorite parfait. I like strawberries, oranges, apples, bananas and vanilla ice cream.</p> <p>3 Hi, I'm Takeru. This is my favorite parfait. I like strawberries, cherries, pineapples, melons, apples, oranges, kiwi fruits and vanilla ice cream.</p>		
5分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 ○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2) 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。 児童と一緒に歌う。 挨拶をする。 	振り返りカード デジタル教材

Unit 7—Lesson 3 What do you want? ほしいものは何かな? 3/5 時間

目 標 フルーツパフェについて紹介したり、欲しい物を尋ねたり要求したりして伝え合う。

準 備 児童用テキスト、教師用カード (野菜・果物)、前時に作成したパフェの作品、デジタル教材、振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物	
5分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>【Let's Chant】 What do you want?</p> <p>p.27</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>What do you want? I want potatoes (carrots, onions, cucumbers, bananas), please. How many? Two, please. Here you are. Thank you. Nice salad!</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 児童と一緒に歌う。 	デジタル教材 教師用カード (野菜・果物)	
35分	<p>【Activity 1】 p.28</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者が紹介するパフェを見ながら、指導者の質問に答える。 前時に作ったパフェをグループで紹介し合う。グループでの紹介が終わったら、メンバーを替えたり、教室を自由に歩き回ったりして、多くの友達と紹介し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導者は、前時に見せたパフェを再度紹介する。その際、一方的に紹介するのではなく、Do you like ~? Do you have apples in your parfait? などと質問し、児童とやり取りをするようにする。 活動を途中で止めて中間評価をし、前半で単に紹介するのではなく、果物についてやり取りをしているペアを見つけて、紹介し、どのようなやり取りをしていたかをみんなで確認をし、後半できるだけ果物やパフェについてやり取りをするよう呼びかける。 	前時に作成したパフェの作品 児童用テキスト	
	<p>紹介例</p> <p>S1: My parfait. I have bananas, peaches and strawberries. I like strawberries. How about you? S2: Thank you. Very nice parfait. My parfait. I have bananas, too. I have pineapples and oranges. I like bananas. S1: Great. Thank you.</p>	<p>◎フルーツパフェについて伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <ul style="list-style-type: none"> グループごとにグループメンバーのパフェを机に並べる。グループを店員役と客役に分ける。客役は、自分のグループ以外のグループのお店に出かけ、やり取りをしてグループごとに欲しいパフェを伝える。 <p>◎欲しい物を尋ねたり要求したりして伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>		
5分	<ul style="list-style-type: none"> 自分のグループ以外のグループを回って、やり取りをして欲しいパフェを伝える。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>やり取りの例</p> <p>S3: What do you want? S4: I want No.1 parfait. S3: OK. Here you are. Do you like peaches? S4: Yes, I do. Thank you. S3: Thank you.</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 <p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。 児童と一緒に歌う。 挨拶をする。 	振り返りカード デジタル教材

Unit 7—Lesson 4	What do you want? ほしいものは何かな? 4/5 時間
目 標	食材について欲しい物を尋ねたり答えたりして伝え合う。
準 備	児童用テキスト, 教師用カード (野菜・果物), ワークシート (Unit 7-3, 7-4 : ピザ台紙シート, 野菜・果物などのカードを切り離しておく) デジタル教材, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
3分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>[Let's Chant] What do you want?</p> <p>p.27</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>What do you want? I want potatoes (carrots, onions, cucumbers, bananas), please. How many? Two, please. Here you are. Thank you. Nice salad!</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶をし, 個別に数名の児童に挨拶をする。 児童と一緒に言う。 	デジタル教材 教師用カード (野菜・果物)
10分	<p>[Let's Listen 2] p.29</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声を聞いて缶詰のイラストと文字を線で結ぶ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>① T-O-M-A-T-O. I'm a tomato. ② C-O-R-N. I'm corn. ③ P-E-A-C-H. I'm a peach. ④ P-I-N-E-A-P-P-L-E. I'm a pineapple.</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 音声を聞かせる前に, イラストの缶詰の野菜や果物が何かを児童と確認する。 缶詰が自らの紹介をするので, 音声を聞いてイラストの下の文字と缶詰を線で結ぶよう言う。 デジタル教材で音声を聞かせる。児童の実態に応じて, 1つ1つ聞かせて答えを確認しながら進めてもよい。 聞いて終わりではなく, どんな野菜が好きかを尋ねながら, Let's Try! 1 で慣れ親しんだ野菜の言い方を思い出させたり, 新しい野菜の言い方を紹介したりする。 <p>tomato, cabbage, corn, mushroom, onion, green pepper, cucumber</p>	デジタル教材 児童用テキスト
27分	<p>[Activity 2] p.29</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者と代表児童のやり取りを見て, 活動の見通しをもつ。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>紹介の例</p> <p>This is my original pizza. This is for Ms.○○, <i>Kochosensei</i>. She likes mushrooms, tomatoes and onions very much. Look, I have mushrooms, tomatoes, and onions on my original pizza. Do you like my pizza?</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 誰のためにどんなピザを作るかを考え, お店屋さんとお客さんに分かれてやり取りをして, 食材を集めてオリジナルピザを作る。 	<ul style="list-style-type: none"> 野菜や果物などの教師用カードを児童と確認しながら黒板に掲示する。 代表児童を店員役, 指導者が客役になってデモンストラーションをし, やり取りをしながらピザを作る。その際, 誰のために作るかを伝え, 活動の目的意識と見通しをもたせるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> 児童をお店屋さんとお客さんの2グループに分け, お店屋さんごっこの要領でやり取りをして欲しい食材を集めてピザを作らせる。 児童の実態に応じて, ワークシートに載っている食 	教師用カード (野菜・果物) ワークシート (Unit 7-3, 7-4 : ピザ台紙シート, 野菜・果物などのカードを切り離しておく)

	<p>やり取りの例</p> <p>S1: What do you want?</p> <p>S2: I want green peppers, please.</p> <p>S1: How many?</p> <p>S2: Two, please.</p> <p>S1: Here you are.</p>	<p>材 (tomato, sausage, green pepper, mushroom, corn, pineapple) 以外の物も扱うことも考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お店に食材がない場合の場面も設定する。客役の児童からは、お店にある食材が見えないようにし、これまでに慣れ親しんだ Do you have ~? などという尋ね方もあることに児童に気付かせたい。また、ない場合にはどのように言うといいかも児童に考えさせ目標に近づけたい。 ・活動を途中で止めて中間評価を行い、より目標に迫れるようにすることが大切である。 <p>◎食材について欲しい物を尋ねたり答えたりして伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	
5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 <p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。 ・児童と一緒に歌う。 ・挨拶をする。 	<p>振り返りカード</p> <p>デジタル教材</p>

Unit 7—Lesson 5	What do you want? ほしいものは何かな? 5/5 時間
目 標	相手に配慮しながら、自分のオリジナルピザを紹介しようとする。
準 備	児童用テキスト、教師用カード (野菜・果物)、前時に作成したピザの作品 (各児童)、デジタル教材、振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
4分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>【Let's Chant】 What do you want? p.27</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>What do you want? I want potatoes (carrots, onions, cucumbers, bananas), please. How many? Two, please. Here you are. Thank you. Nice salad!</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 児童と一緒に言う。 	デジタル教材 教師用カード (野菜・果物)
36分	<p>【Activity 2】 p.29</p> <ul style="list-style-type: none"> 前時に作成したオリジナルピザを紹介する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>あやめ: This is my pizza. I want onions. I want mushrooms. I want sausages. I like my pizza.</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 前時に作成したピザに、贈る人のことを考えてオリジナル名前を付けるよう言う。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px auto;"> <p>紹介の仕方の例</p> <ul style="list-style-type: none"> まずグループで自分のピザを紹介する。 聞いている児童は、そのピザをどう思うか感想を言う。 This is my pizza, ○○ (ピザの名前) . I have ~, ~ and ~. This is for ~. グループ内の友達の発表を聞いて、自分は何のようなことに気を付けて発表するとよいかを考え、練習をする。 全員の前で1人ずつ発表をする。 聞いている児童が、感想を言う。 <p>〈感想の例〉</p> <p>Nice pizza. I like ○○ pizza. I like sausages.</p> </div>	前時に作成したピザの作品 (各児童)
5分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 <p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎相手に配慮しながら、自分のオリジナルピザを紹介している。〈行動観察・振り返りカード点検〉 児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。 児童と一緒に歌う。 挨拶をする。 	振り返りカード デジタル教材

4年—Unit 8 単元名 This is my favorite place. お気に入りの場所をしょうかいしよう

1. 単元目標

- ・世界と日本の学校生活の共通点や相違点を通して、多様な考え方があることに気付くとともに、教科名や教室名の言い方や道案内の仕方に慣れ親しむ。(知識及び技能)
 - ・自分が気に入っている校内の場所に案内したり、その場所について伝え合ったりする。(思考力・判断力・表現力等)
 - ・相手に配慮しながら、自分が気に入っている場所について伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)
- ※二重線は、「指導編」記載の単元目標に追記した部分。

2. 言語材料

- Go straight. Turn [right / left]. Stop. This is (the music room). This is my favorite place. Why? I like (music).
 - favorite, place, my, our, go, why, straight, 学校・教室等 (classroom, restroom, [science / music / arts and crafts / computer / cooking] room, [school nurse's / school principal's / teachers'] office, entrance, library, gym, playground)
- [既出] 挨拶, 曜日, スポーツ, This is for you. Do you like (blue)? Yes, I do. / No, I don't. turn, right, left, lunch, school

3. 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	イ ゆっくりはっきりと話された際に、身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かるようにする。
話すこと (やり取り)	ウ サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりするようにする。
話すこと (発表)	イ 自分のことについて、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。

4. 単元計画 (4時間)

時	目標 (◆) と主な活動 (【 】、○) 【 】 = 誌面化されている活動	◎評価の観点<方法>
1	<p>◆教科名や教室名の言い方、道案内の仕方に慣れ親しむ。</p> <p>○チャンツ What do you want? (Unit 7)</p> <p>○学校クイズに答えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室の中にある物や教室の一部の写真を見て、それが何で、どこの教室かを考えて発表する。 ・教室の言い方を知る。 <p>○道案内をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道案内の仕方を知り、行き方を言う。 <p>【Let's Chant】 School Chant p.32</p> <p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2)</p>	<p>※目標に向かって指導を行うが、評価の記録は次時と合わせて行う。</p>
2	<p>◆教科名や教室名の言い方、道案内の仕方に慣れ親しむ。</p> <p>【Let's Chant】 School Chant p.32</p> <p>【Let's Play 1】 ポインティング・ゲーム p.31</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで、児童用テキスト p.30, 31 の校内地図を見て、指導者の言う教室を探して指さす。 	

	<p>○どの教室か考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで、児童用テキスト p.30, 31 の校内地図を見て、協力して指導者が言う行き方を指でたどり、到着した教室名を言う。慣れてきたら個人で行う。 <p>【Let's Listen 1】 p.30, 31</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材の音声で道案内を聞き、どの教室かを考えて発表する。 <p>【Let's Play 2】 p.33</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者のお気に入りの場所について聞く。 ・友達にインタビューし、誌面にある教室が好きな友達の名前を□に記入する。 <p>【Let's Watch and Think 1】 p.31</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映像資料で説明の仕方を聞き、どのような英語が聞こえたかを発表する。 <p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2)</p>	<p>◎教科名や教室名の言い方、道案内の仕方を聞いている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎道案内を聞いて分かっている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
3	<p>◆世界と日本の学校生活の共通点や相違点を通して、多様な考え方があることに気付くとともに、自分が気に入っている校内の場所に案内したり、その場所について伝え合ったりする。</p> <p>【Let's Chant】 School Chant p.32</p> <p>【Let's Watch and Think 2】 p.32</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映像資料を視聴し、外国と日本の小学校の違いなど、気付いたことを□に記入する。 ・映像資料の内容について、指導者の質問に答える。 <p>【Activity】 p.33</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内の好きな場所を、その理由とともにペアで伝え合う。 <p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2)</p>	<p>◎多様な考え方があることに気付いている。〈行動観察・振り返りカード分析〉</p> <p>◎自分が気に入っている校内の場所に案内したり、その場所について伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
4	<p>◆相手に配慮しながら、自分が気に入っている場所について伝え合ったり、紹介したりしようとする。</p> <p>【Let's Chant】 School Chant p.32</p> <p>【Activity】 p.33</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時と同様に、校内の好きな場所を、その理由とともにペアで伝え合う。 <p>【Let's Listen 2】 p.32</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞き、登場人物と教室イラストを線で結ぶ。 <p>○お気に入りの場所を紹介しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで、お気に入りの場所を紹介する。 <p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2)</p>	<p>◎相手に配慮しながら、自分が気に入っている場所について伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎お気に入りの場所を聞いたり話したりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎相手に配慮しながら、自分が気に入っている場所を紹介したり、聞いたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>

4年 Unit 8—Lesson 1 This is my favorite place. お気に入りの場所をしょうかいしよう 1/4時間

目 標 教科名や教室名の言い方, 道案内の仕方に慣れ親しむ。

準 備 児童用テキスト, 教師用カード (教室), 校内の教室の写真, 校舎内の見取り図 (教室配置図など校舎内が俯瞰的に見えるもの), デジタル教材, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
5分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 ○チャンツ What do you want? (Unit 7)	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶をし, 個別に数名の児童に挨拶をする。 児童と一緒に言う。 	デジタル教材
30分	○学校クイズに答えよう。 <ul style="list-style-type: none"> 教室の中にある物や教室の一部の写真を見て, それが何で, どの教室かを考えて発表する。 教室の言い方を知る。 ○道案内をしよう。 <ul style="list-style-type: none"> 道案内の仕方を知り, 指導者と一緒に行き方を言う。 慣れてきたら, 児童だけで言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導者はあらかじめ校内の教室について, その全体や教室の一部, 教室の中にある物などの写真を撮っておく。(デジタル教材の「教材どうぐばこ」にある画像読み込み機能を使うとよい。) 写真のデータを, 画面に映し出す。まず, 教室内にある物や教室の一部を映し出し, What's this? What room? Music room? Library? Computer room? などと尋ね, 児童の答えやつぶやきを拾いながら, 教室名の言い方に会わせる。教室の言い方を紹介しながら, 黒板に教師用カード (教室) を掲示していく。 教師用カードから1つ選んでさしながら, Where is the ~ (room)? と尋ねる。今授業している教室から Turn right / left. Go straight. などと簡単に行ける教室を選ぶようにする。道案内の仕方に会わせるのが, ねらいである。 校舎内の見取り図 (デジタル教材に読み込んでおく) を映し, Let's go to the ~ (room). と呼びかけ, 児童とその教室までの行き方を一緒に言う。 児童が慣れてきたら, 指導者はできるだけ小さな声や, 児童より一息遅れて言ったりして, 児童が自ら行き方を言うように促す。 	校内の教室の写真 デジタル教材 教師用カード (教室) 校舎内の見取り図 (教室配置図など校舎内が俯瞰的に見えるもの)
5分	【Let's Chant】 School Chant p.32 <ul style="list-style-type: none"> 聞こえた語を発表する。 言えるところから言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 最初は数回聞かせ, 聞こえた語を発表させ, 言えるところから言わせるようにする。 児童と一緒に言う。 	デジタル教材 児童用テキスト
	Turn right. Go straight. This is my favorite place, the music room! I like music. Turn left. Go straight. Turn left. Go straight. This is my favorite place, the lunch room! I'm hungry.		
5分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の活動を振り返り, 振り返りカードに記入する。 ○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2) <ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。 児童と一緒に歌う。 挨拶をする。 	振り返りカード デジタル教材

※目標に向かって指導を行うが, 評価の記録は次時と合わせて行う。

4年 Unit 8—Lesson 2 This is my favorite place. お気に入りの場所をしょうかいしよう 2/4時間

目 標 教科名や教室名の言い方、道案内の仕方に慣れ親しむ。

準 備 児童用テキスト、教師用カード (教室)、デジタル教材、振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ①評価<方法>	準備物
5分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 【Let's Chant】 School Chant p.32 <ul style="list-style-type: none"> 言えるところから言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 児童と一緒に言う。 	デジタル教材
Turn right. Go straight. This is my favorite place, the music room! I like music. Turn left. Go straight. Turn left. Go straight. This is my favorite place, the lunch room! I'm hungry.			
15分	【Let's Play 1】 ポインティング・ゲーム p.31 <ul style="list-style-type: none"> ペアで、児童用テキスト p.30, 31 の校内地図を見て、指導者の言う教室を探して指さす。 ○どの教室か考えよう。 <ul style="list-style-type: none"> ペアで、児童用テキスト p.30, 31 の校内地図を見て、協力して指導者が言う行き方を指でたどり、到着した教室名を言う。慣れてきたら個人で行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 教師用カードを黒板に掲示しながら、教室名の言い方を児童と一緒に確認する。 指導者が言う教室名を聞いて、誌面にある教室を指さすよう言う。デジタル教材で教室名を聞かせてもよい。 出発地点を決めて、そこから行き方を言い、どの教室に到着したかを考えて、答えさせる。道案内の仕方を繰り返し聞かせることがねらいである。 ◎教科名や教室名の言い方、道案内の仕方を聞いている。〈行動観察・振り返りカード〉	教師用カード (教室) デジタル教材 児童用テキスト
5分	【Let's Listen 1】 p.30, 31 <ul style="list-style-type: none"> デジタル教材の音声で道案内を聞き、どの教室かを考えて発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 前の活動の流れで、デジタル教材の音声で道案内を聞かせる。 再度、音声を聞かせて答えを確認する。 	デジタル教材 児童用テキスト
① This is my school. Let's go inside. Look. This is my classroom. This is the school nurse's office. This is the teachers' office. This is the school principal's office. And then this is my favorite room. I like lunch time very much. (lunch room) ② You are at the entrance. Turn right and go straight. Turn right and go straight. Then you can find my favorite room. It's next to the school office. I like painting. (arts and crafts room) ③ We are at the science room. Go straight, go straight, go straight and turn left at the music room. Go straight, go straight and turn right at my classroom. And then you can find my favorite room soon. I like books very much. (library)			
9分	【Let's Play 2】 p.33 <ul style="list-style-type: none"> 指導者のお気に入りの場所について聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> まず、指導者が自身の好きな校内のお気に入りの場所を紹介し、次のインタビュー活動への意欲を高めるようにする。その際、一方的に紹介するのではなく、Let's Playにつながるように、児童にもその教室が好きかどうかを尋ねるようにする。 	児童用テキスト デジタル教材
紹介例 I like cooking room. I like cooking. One more, I like the playground. I like dodgeball. Do you like cooking room? Why? Do you like playground? Why?		<ul style="list-style-type: none"> 友達とお気に入りの場所について伝え合い、誌面にある教室が好きな友達の名前を□に記入する。またなぜそこが好きなのかを尋ねる。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童どうして、好きな教室やその理由などを尋ね合わせる。

4年 Unit 8—Lesson 3 This is my favorite place. お気に入りの場所をしようかいしよう 3/4時間

目 標 世界と日本の学校生活の共通点や相違点を通して、多様な考え方があることに気付くとともに、自分が気に入っている校内の場所に案内したり、その場所について伝え合ったりする。

準 備 児童用テキスト、教師用カード(教室)、デジタル教材、振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
5分	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 ・【Let's Chant】 School Chant p.32 ・チャンツを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 ・児童と一緒に言う 	デジタル教材
		<p>Turn right. Go straight. This is my favorite place, the music room! I like music. Turn left. Go straight. Turn left. Go straight. This is my favorite place, the lunch room! I'm hungry.</p>	
15分	<ul style="list-style-type: none"> ・映像資料を視聴し、外国と日本の小学校の違いなど、気付いたことを口に記入する。 ・映像資料の内容について、指導者の質問に答える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の子供たちや先生が自分の学校について紹介している映像資料を視聴すること告げ、分かったことや気付いたことを口に書くように言う。 ・まず、すべてを理解しようとせず、聞こえた語を発表させながら数回視聴させるとよい。すべて分からなくても、まとまりのある文から語が聞き取れたことをほめ、達成感をもたせるようにする。 〈例〉 外国の学校では、音楽の授業中にギターやバイオリンを弾いたりすることがある。理科室や体育館が日本の理科室や体育館とは違う。世界の子供たちもバスケットボールをしたり、顕微鏡で観察をしたりする。など ・映像を視聴して、単に外国と日本の小学校の相違点や共通点の気付きに終わらせず、映像資料の内容について児童とやり取りをするようにする。映像資料の登場人物が最後に児童に向かって問いかけているのを捉え、児童に尋ねるようにする。 Do you play the violin? Do you like music? Do you like basketball? Do you like P.E.? What sport do you like? Do you have a microscope? Do you like science? 	デジタル教材 児童用テキスト
		<p>① Hello, I'm James. Welcome to my school. I will show you my favorite room. Here we are. This is the music room. We play the piano, the guitar and the violin here. Do you play the violin? ② Hi, I'm Chris. Nice to meet you. I like basketball. I'm a basketball player. This is the gym. I play basketball here. Do you like basketball? ③ Nice to meet you. Welcome to my school. I'm Grace. I'm a teacher. Look. This is the science room. This is the microscope. This is a lens. I like to see something small through a microscope. Do you have a microscope? See you.</p>	
		◎多様な考え方があることに気付いている。〈行動観察・振り返りカード分析〉	

20分	<p>【Activity】 p.33</p> <p>・校内の好きな場所を、その理由とともにペアで伝え合う。</p>	<p>・ペアを替えながら、児童の実態に合わせて、以下の形式から選択して行う。</p> <p>※児童の実態及び単元構想に応じて選択する。</p> <p>＜クイズ形式1＞</p> <p>・ペアで気に入った場所を紹介する。気に入った場所を言わずに、校内地図をもとに現在地からそこまでの道案内をする。案内された方は、それがどの教室なのかを答える。合っていれば、好きな理由を伝える。</p> <p>＜クイズ形式2＞</p> <p>・ペアになり、その場所が気に入っている理由を言う。それを聞いて、それがどこかを推測して答える。</p> <p>＜インタビュー形式＞</p> <p>・ペアになり、気に入っている場所を尋ね、教室名などとその理由を表に記入する。</p> <p>◎自分が気に入っている校内の場所に案内したり、その場所について伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	<p>教師用カード (教室)</p> <p>デジタル教材</p> <p>児童用テキスト</p>
5分	<p>・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。</p> <p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2)</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。</p> <p>・児童と一緒に歌う。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>振り返りカード</p> <p>デジタル教材</p>

4年 Unit 8—Lesson 4 This is my favorite place. お気に入りの場所をしょうかいしよう 4/4時間

目 標 相手に配慮しながら、自分が気に入っている場所について伝え合ったり、紹介したりしようとする。

準 備 児童用テキスト、教師用カード (教室)、デジタル教材、振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
5分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>【Let's Chant】 School Chant p.32</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 児童と一緒に言う。 	デジタル教材
<p>Turn right. Go straight. This is my favorite place, the music room! I like music. Turn left. Go straight. Turn left. Go straight. This is my favorite place, the lunch room! I'm hungry.</p>			
15分	<p>【Activity】 p.33</p> <ul style="list-style-type: none"> 前時と同様に、校内の好きな場所を、その理由とともにペアで伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 前時と同様に、ペアを替えながら、児童の実態に合わせて、以下の形式から選択して行う。 	教師用カード (教室) デジタル教材 児童用テキスト
<p>進め方 (指導書 p.35 に記載) ※児童の実態及び単元構想に応じて選択する。</p> <p><クイズ形式1></p> <ul style="list-style-type: none"> ペアで気に入った場所を紹介する。気に入った場所を言わずに、校内地図をもとに現在地からそこまでの道案内をする。案内された方は、それがどの教室なのかを答える。合っていれば、好きな理由を伝える。 <p><クイズ形式2></p> <ul style="list-style-type: none"> ペアになり、その場所が気に入っている理由を言う。それを聞いて、それがどこかを推測して答える。 <p><インタビュー形式></p> <ul style="list-style-type: none"> ペアになり、気に入っている場所を尋ね、教室名などその理由を表に記入する。 		◎相手に配慮しながら、自分が気に入っている場所について伝え合っている。<行動観察・振り返りカード点検>	
20分	<p>【Let's Listen 2】 p.32</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声を聞き、登場人物と教室イラストを線で結ぶ。 <p>○お気に入りの場所を紹介しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> Let's Listen 2 の登場人物の紹介を参考に、自分の紹介を考える。 グループで、お気に入りの場所を紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> お気に入りの場所の紹介の仕方を聞かせ、紹介する際の参考にさせる。 	デジタル教材 児童用テキスト
<p>紹介例</p> <p>Hi, everyone. I'm ~. Turn right. Go straight. I like books. The library is my favorite room / place.</p> <p>Hello, everyone. I'm ~. Turn left. Go straight. Go straight. This is the lunch room. I like lunch.</p>		<p>1 Hi, I'm Takeru. I like books. The library is my favorite place.</p> <p>2 Hello, I'm Emily. I love my classmates. Our classroom is my favorite place.</p> <p>3 Hi, I'm Robert. I love "Lunch Time." The lunch room is my favorite place.</p> <ul style="list-style-type: none"> Let's Listen 2 の登場人物の紹介を参考に、自分の紹介を考えて練習する時間をとる。 グループ内で紹介をさせる。 個別支援をする。 	

		<p>◎お気に入りの場所を聞いたり話したりしている。 <行動観察・振り返りカード点検></p> <p>◎相手に配慮しながら、自分が気に入っている場所を紹介したり、聞いたりしている。<行動観察・振り返りカード点検></p>	
5分	<p>・本時の活動を振り返り，振り返りカードに記入する。</p> <p>○歌 Goodbye Song（3年 Unit 2）</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。</p> <p>・児童と一緒に歌う。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>振り返りカード</p> <p>デジタル教材</p>

4年—Unit 9

単元名 This is my day. ぼく・わたしの一日

1. 単元目標

- ・日本語と英語の音声やリズムなどの違いに気付き、日課を表す表現に慣れ親しむ。(知識及び技能)
- ・絵本などの短い話を聞いて反応したり、おおよその内容が分かったりする。(思考力、判断力、表現力等)
- ・相手に配慮しながら、絵本などの短い話を聞いて反応しようとする。(学びに向かう力、人間性等)

2. 言語材料

○ I wake up (at 6:00). I have breakfast (at 7:00). I go to school. I go home.

○ 日課 (wash my face, go to school, go home, brush my teeth, put away my *futon*, check my school bag, leave my house, take out the garbage), everything, later, boy, girl, yummy, wonderful

[既出] 挨拶, 日課, 状態・気持ち, 動作, 教科, This is my favorite place. I, am, it, is, day, you, up, my, have, breakfast, house, the, to, school, homework, dinner, a, dream

3. 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。
話すこと (発表)	ウ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、人前で実物などを見せながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。

4. 単元計画 (5時間)

時	目標(◆)と主な活動(【】、○)【】=誌面化されている活動	◎評価の観点<方法>
1	<p>◆日課を表す表現に慣れ親しみ、絵本などの短い話を聞いて反応したり、おおよその内容が分かったりする。</p> <p>○お話を聞こう。 ・指導者の質問に答えたり感想を言ったりしながら、読み聞かせを聞く。</p> <p>○どんなことをしていたかな。 ・絵本の主人公がどのようなことをしていたかを思い出して言う。</p> <p>○どのページかなクイズ ・指導者が言う日課を聞き、ペアで協力してそのページを探す。</p> <p>○チャンツ What time is it? (Unit 4)</p> <p>○お話を聞こう。 ・指導者の読み聞かせを聞きながら、話に合わせてペアで絵カードを順に並べる。</p> <p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2)</p>	<p>※絵本などの短い話を聞いて反応したり、おおよその内容が分かったりするという目標に向かって指導は行いが、評価の記録は次時に合わせて取る。</p> <p>◎日課を表す表現を聞いている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎日課を表す表現を聞いている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
2	<p>◆日課を表す表現に慣れ親しみ、絵本などの短い話を聞いて反応したり、おおよその内容が分かったりする。</p> <p>○お話を聞こう。 ・指導者の読み聞かせを聞きながら、絵本の台詞で言えるところは一緒に言う。</p> <p>○チャンツ This is how I spend my day. (Hi, friends! Story Books 'Good Morning')</p> <p>○ジェスチャー・ゲーム</p>	<p>◎日課を表す表現を聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎短い話を聞いて質問に答えたり、おおよその内容を分かったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎日課を表す表現を聞いたり言ったりして</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者がする動作を見て、それが何かを答える。 <p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2)</p>	いる。〈行動観察・振り返りカード点検〉
3	<p>◆日課を表す表現に慣れ親しみ、まとまりのある話を聞いておおよその内容が分かる。</p> <p>○お話を聞こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の読み聞かせを聞きながら、絵本の台詞で言えるところは一緒に言う。 <p>○チャンツ This is how I spend my day. (Hi, friends! Story Books 'Good Morning')</p> <p>○カードを並べよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者が言う場面のカードをペアで協力して探して並べる。 <p>○ペアで伝え合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアの1人が1枚のカードを選び、そのカードにある物を参考に主人公の気持ちなどを言い、もう1人がそれに該当するカードを選ぶ。 <p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2)</p>	<p>◎短い話を聞いて質問に答えたり、おおよその内容を分かっていたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎日課を表す表現を聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
4	<p>◆まとまりのある話を聞いて、そのおおよその内容が分かり、反応する。</p> <p>○チャンツ This is how I spend my day. (Hi, friends! Story Books 'Good Morning')</p> <p>○お話を聞こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の読み聞かせを聞きながら、絵本の台詞で言えるところは一緒に言う。 <p>○好きなページを紹介しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の好きなページの紹介を聞いて、質問に答える。 ・ペアで自分の好きなページを紹介し合う。 <p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2)</p>	<p>◎まとまりのある話を聞いて、大まかな内容が分かり、反応している。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎まとまりのある話を聞いて、大まかな内容が分かり、反応している。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
5	<p>◆相手に配慮しながら、まとまりのある話を聞き、反応しようとする。</p> <p>○チャンツ This is how I spend my day. (Hi, friends! Story Books 'Good Morning')</p> <p>○お話を聞こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の読み聞かせを聞きながら、絵本の台詞で言えるところは一緒に言う。 <p>○Who am I? クイズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の1日の生活を聞いて、質問に答える。 ・指導者の話を聞いて、各グループでそれがどの先生のことかを考え、発表する。 <p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2)</p>	◎相手に配慮しながら、まとまりのある話を聞き、反応している。〈行動観察・振り返りカード点検〉

4年 Unit 9—Lesson 1 This is my day. ぼく・わたしの一日 1/5 時間
 目 標 日課を表す表現に慣れ親しみ、絵本などの短い話を聞いて反応したり、おおよその内容が分かったりする。
 準 備 児童用テキスト、ワークシート (Unit 9-1, 9-2)、デジタル教材、振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物														
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶をする。															
20分	<p>○お話を聞こう。</p> <p>・最初のページを見て、どんな話を予想したり、そのページにあるもので、英語で言えるものを発表したりする。</p> <p>・指導者の質問に答えたり感想を言ったりしながら、読み聞かせを聞く。</p>	<p>・指導者は、デジタル教材の大型絵本を使って読み聞かせをする。</p> <p>・絵本を読む前に、まず、絵本の最初のページを見せて、どんなお話を予想させたり、ページにあるイラストの中で、英語で言えるものを言わせたりして、物語に興味をもたせるようにする。</p> <p>・読み聞かせをする。ALT等がいれば、指導者と役割分担し、説明文はALT等が、主人公の台詞は指導者が読むなどしてもよい。また、デジタル教材の音声聞かせてもよいが、最初は「手動再生」にし、児童の様子を見ながら指導者がページをめくるタイミングを図るようにする。</p>	デジタル教材 児童用テキスト														
<p>読み聞かせの仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表情豊かに、ジェスチャーなどを付けて、指導者が児童の理解の様子や反応に合わせて台詞を読んだり、ページをめくるタイミングを工夫したりするようにする。こうすることで、次のページで何が起きるのが知りたいという期待感や意欲を引き出し、絵本の世界を楽しませるようにする。 ・読み始めたら、一方的に読むのではなく、ページにあるいろいろなものについて、What's this? Do you like ~? Do you have ~? What ~ do you like? などと、児童がこれまでに慣れ親しんだ表現を使って質問したり、児童に発話を求めたりする。児童とやり取りをしながら読み進め、児童に絵本の世界に浸らせることが大切である。 ・そして何より、指導者自身が絵本の読み聞かせを楽しむことを大切にしたい。 																	
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;">I wake up.</td> <td style="width: 50%; padding: 5px;">I leave my house.</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">I wash my face.</td> <td style="padding: 5px;">I take out the garbage.</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">I brush my teeth.</td> <td style="padding: 5px;">I go to school.</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">I put away my futon.</td> <td style="padding: 5px;">I go home.</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">I have breakfast.</td> <td style="padding: 5px;">I do my homework.</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">I check my school bag.</td> <td style="padding: 5px;">I finish my dinner.</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="padding: 5px;">I dream a wonderful dream.</td> </tr> </table>				I wake up.	I leave my house.	I wash my face.	I take out the garbage.	I brush my teeth.	I go to school.	I put away my futon.	I go home.	I have breakfast.	I do my homework.	I check my school bag.	I finish my dinner.		I dream a wonderful dream.
I wake up.	I leave my house.																
I wash my face.	I take out the garbage.																
I brush my teeth.	I go to school.																
I put away my futon.	I go home.																
I have breakfast.	I do my homework.																
I check my school bag.	I finish my dinner.																
	I dream a wonderful dream.																
	<p>○どんなことをしていたかな。</p> <p>・絵本の主人公がどのようなことをしていたかを思い出して言う。</p>	<p>・読み終わった後、絵本のページの絵をさしながら Unit 4 で慣れ親しんだ日課の言い方を想起させ、次のような質問をしてどのような内容だったかを振り返らせる。</p> <p>What's his name? His name is ...? What time is Kazu's 'wake-up time'? Kazu's 'breakfast time' is ...? Kazu's school is ...?</p>															

10分	<p>○どのページかなクイズ</p> <p>・指導者が言う日課を聞き、ペアで協力してそのページを探して、開ける。</p>	<p>・指導者は、Unit 4 で児童が慣れ親しんだ日課を言い、その誌面のページをペアで協力して開くよう言う。日課の語句に慣れ親しませるのがねらいである。そのため、指導者は1回だけでなく、日課を何度も聞かせるよう心がげる。</p> <p>◎日課を表す表現を聞いている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	デジタル教材 児童用テキスト
3分	<p>○チャンツ What time is it?(Unit 4)</p> <p>・チャンツを言う。</p>	<p>・児童と一緒に言う。</p>	デジタル教材
5分	<p>○お話を聞こう。</p> <p>・ペアで、ワークシート (Unit 9-1, 9-2) の絵カードを切り離したものを1セット使い、指導者の読み聞かせを聞きながら、話に合わせて絵カードを順に並べる。</p>	<p>・ワークシート (Unit 9-1, 9-2) の絵カードを切り離したものを、児童のペアに1セット用意する。</p> <p>・読み聞かせの話に合わせて絵カードを並べるように言う。</p> <p>・再度、絵本の読み聞かせをする。</p> <p>◎日課を表す表現を聞いている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	デジタル教材 ワークシート (Unit 9-1, 9-2)
5分	<p>・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。</p> <p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2)</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。</p> <p>・児童と一緒に歌う。</p> <p>・挨拶をする。</p>	振り返りカード デジタル教材

※絵本などの短い話を聞いて反応したり、おおよその内容が分かったりするという目標に向かって指導は行いが、評価の記録は次時に合わせて取る。

		<p>have breakfast, check my school bag, take out the garbage, do my homework, finish my dinner</p> <p>◎日課を表す表現を聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	
5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返り，振り返りカードに記入する。 ○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2) ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。 ・児童と一緒に歌う。 ・挨拶をする。 	<p>振り返りカード</p> <p>デジタル教材</p>

<p>4年 Unit 9—Lesson 3 This is my day. ぼく・わたしの一日 3/5 時間</p> <p>目 標 日課を表す表現に慣れ親しみ、まとまりのある話を聞いておおよその内容が分かる。</p> <p>準 備 児童用テキスト、ワークシート (Unit 9-1, 9-2) の絵カードを切り離したものを、デジタル教材、振り返りカード</p>
--

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物														
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶をする。															
15分	<p>○お話を聞こう。</p> <p>・指導者の読み聞かせを聞きながら、絵本の台詞で言えるところは一緒に言う。</p> <p>-----</p> <p>読み聞かせの仕方</p> <p>・読み聞かせでは、表情豊かにジェスチャーなどを付け、児童の理解の様子や反応に合わせて、一緒に台詞を読んだり、ページをめくるタイミングを工夫したり、途中で質問を交えたりするようにして、児童と一体感を感じながら読み聞かせを行う。何より、指導者自身が楽しく読むことを大切にしたい。</p> <p>・ALT 等がいれば、指導者と役割分担し、説明文はALT 等が、主人公の台詞は児童と指導者が読むなどしてもよい。また、デジタル教材の音声聞かせてもよい。</p>	<p>・前回同様、デジタル教材の大型絵本を使って読み聞かせをする。絵本の台詞で一緒に言えるところは、児童も一緒に言うよう促す。</p>	デジタル教材														
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>I wake up.</td> <td>I leave my house.</td> </tr> <tr> <td>I wash my face.</td> <td>I take out the garbage.</td> </tr> <tr> <td>I brush my teeth.</td> <td>I go to school.</td> </tr> <tr> <td>I put away my futon.</td> <td>I go home.</td> </tr> <tr> <td>I have breakfast.</td> <td>I do my homework.</td> </tr> <tr> <td>I check my school bag.</td> <td>I finish my dinner.</td> </tr> <tr> <td></td> <td>I dream a wonderful dream.</td> </tr> </table>	I wake up.	I leave my house.	I wash my face.	I take out the garbage.	I brush my teeth.	I go to school.	I put away my futon.	I go home.	I have breakfast.	I do my homework.	I check my school bag.	I finish my dinner.		I dream a wonderful dream.		
I wake up.	I leave my house.																
I wash my face.	I take out the garbage.																
I brush my teeth.	I go to school.																
I put away my futon.	I go home.																
I have breakfast.	I do my homework.																
I check my school bag.	I finish my dinner.																
	I dream a wonderful dream.																
	○チャンツ This is how I spend my day. (Hi, friends! Story Books 'Good Morning')	<p>◎短い話を聞いて質問に答えたり、おおよその内容を分かたりしている。<行動観察・振り返りカード点検></p> <p>・児童と一緒に言う。児童の実態に応じて、すべてを言わせるのではなく、英語のリズムを楽しむ程度に扱ってもよい。</p>	デジタル教材														
23分	<p>○カードを並べよう。</p> <p>・ペアで、ワークシート (Unit 9-1, 9-2) の絵カードを切り離したものを1セット使い、指導者が言う場面のカードをペアで協力して探して並べる。</p> <p>○ペアで伝え合おう。</p> <p>・各児童で、ワークシート (Unit 9-1, 9-2) の絵カードを切り離したものを1セット使う。</p> <p>・ペアの1人が1枚のカードを選び、そのカードにある物を参考に主人公の気持ちなどを言う。もう1人がそれに該当するカードを選ぶ。同じカードなら、合わせて出す。役割を交代しながら進める。</p>	<p>・ワークシート (Unit 9-1, 9-2) の絵カードを切り離したものを、児童のペアに1セット用意する。</p> <p>・指導者は、順不同に絵本の場面の台詞やその場面での主人公の気持ちなどを言う。</p>	児童用テキスト ワークシート (Unit 9-1, 9-2) の絵カードを切り離したもの														
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td> <p>ワークシート Unit 9-1 (上段左から)</p> <p>Good morning. Time to wake up. I'm hungry. I like fried eggs. I'm a good boy. I like math. (下段左から)</p> <p>I'm sleepy. Today I have math and Japanese. Hi! I'm happy. I like fish.</p> </td> <td> <p>ワークシート Unit 9-2 (上段左から)</p> <p>It's a fine day. I have my cap. Ready to go. See you later. Bye. Good night. (下段左から)</p> <p>I put away my futon. I like you. See you. Bye. Wow, I'm home. I dream. I like soccer.</p> </td> </tr> </table>	<p>ワークシート Unit 9-1 (上段左から)</p> <p>Good morning. Time to wake up. I'm hungry. I like fried eggs. I'm a good boy. I like math. (下段左から)</p> <p>I'm sleepy. Today I have math and Japanese. Hi! I'm happy. I like fish.</p>	<p>ワークシート Unit 9-2 (上段左から)</p> <p>It's a fine day. I have my cap. Ready to go. See you later. Bye. Good night. (下段左から)</p> <p>I put away my futon. I like you. See you. Bye. Wow, I'm home. I dream. I like soccer.</p>													
<p>ワークシート Unit 9-1 (上段左から)</p> <p>Good morning. Time to wake up. I'm hungry. I like fried eggs. I'm a good boy. I like math. (下段左から)</p> <p>I'm sleepy. Today I have math and Japanese. Hi! I'm happy. I like fish.</p>	<p>ワークシート Unit 9-2 (上段左から)</p> <p>It's a fine day. I have my cap. Ready to go. See you later. Bye. Good night. (下段左から)</p> <p>I put away my futon. I like you. See you. Bye. Wow, I'm home. I dream. I like soccer.</p>																
		<p>・ワークシート (Unit 9-1, 9-2) の絵カードを切り離したものを各児童に1セットずつ用意し、前の活動の流れで、児童どうしのペアでやり取りを</p>															

		させる。 ◎日課を表す表現を聞いたり言ったりしている。 〈行動観察・振り返りカード点検〉	
5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返り，振り返りカードに記入する。 ○歌 Goodbye Song（3年 Unit 2） ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。 ・児童と一緒に歌う。 ・挨拶をする。 	振り返りカード デジタル教材

<p>4年 Unit 9—Lesson 4 This is my day. ぼく・わたしの一日 4/5 時間</p> <p>目 標 まとまりのある話を聞いて、そのおおまかな内容が分かり、反応する。</p> <p>準 備 児童用テキスト、デジタル教材、振り返りカード</p>
--

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物														
10分	<p>・挨拶をする。</p> <p>○チャンツ This is how I spend my day. (Hi, friends! Story Books ‘Good Morning’)</p>	<p>・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶をする。</p> <p>・児童と一緒に言う。児童の実態に応じて、すべてを言わせるのではなく、英語のリズムを楽しむ程度に扱ってもよい。</p>	デジタル教材														
10分	<p>○お話を聞こう。</p> <p>・指導者の読み聞かせを聞きながら、絵本の台詞で言えるところは一緒に言う。</p>	<p>・前回同様、デジタル教材の大型絵本を使って読み聞かせをする。絵本の台詞で言えるところは、児童も一緒に言うよう促す。</p>															
<p>読み聞かせの仕方</p> <p>・読み聞かせでは、表情豊かにジェスチャーなどを付け、児童の理解の様子や反応に合わせて、一緒に台詞を読んだり、ページをめくるタイミングを工夫したり、途中で質問を交えたりするようにして、児童と一体感を感じながら読み聞かせを行う。何より、指導者自身が楽しく読むことを大切にしたい。</p> <p>・ALT 等がいれば、指導者と役割分担し、説明文は ALT 等が、主人公の台詞は児童と指導者が読むなどしてもよい。また、デジタル教材の音声を聞かせてもよい。</p>																	
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 2px;">I wake up.</td> <td style="width: 50%; padding: 2px;">I leave my house.</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">I wash my face.</td> <td style="padding: 2px;">I take out the garbage.</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">I brush my teeth.</td> <td style="padding: 2px;">I go to school.</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">I put away my <i>futon</i>.</td> <td style="padding: 2px;">I go home.</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">I have breakfast.</td> <td style="padding: 2px;">I do my homework.</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">I check my school bag.</td> <td style="padding: 2px;">I finish my dinner.</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="padding: 2px;">I dream a wonderful dream.</td> </tr> </table>		I wake up.	I leave my house.	I wash my face.	I take out the garbage.	I brush my teeth.	I go to school.	I put away my <i>futon</i> .	I go home.	I have breakfast.	I do my homework.	I check my school bag.	I finish my dinner.		I dream a wonderful dream.		
I wake up.	I leave my house.																
I wash my face.	I take out the garbage.																
I brush my teeth.	I go to school.																
I put away my <i>futon</i> .	I go home.																
I have breakfast.	I do my homework.																
I check my school bag.	I finish my dinner.																
	I dream a wonderful dream.																
		◎まとまりのある話を聞いて、大まかな内容が分かり、反応している。〈行動観察・振り返りカード点検〉															
20分	<p>○好きなページを紹介しよう。</p> <p>・指導者の好きなページの紹介を聞いて、質問に答える。</p>	<p>・まず、指導者が絵本の中で好きなページを紹介する。そのページにあるものを言ったり、なぜそのページが好きなのかを紹介したりする。</p>	デジタル教材 児童用テキスト														
<p>紹介の例</p> <p>I like this page. Kazu, a green curtain, a window, a chair, a desk, pencils.... ‘I do my homework.’ I like cats. Do you like cats? What animal do you like? This cat is very, very cute. I like this page very much.</p>																	
		◎まとまりのある話を聞いて、大まかな内容が分かり、反応している。〈行動観察・振り返りカード点検〉															
<p>・代表児童が言う好きなページについてのヒントを聞いて、どのページかを考えて、発表する。</p>		<p>・What page do you like?と全児童に問いかけ、好きなページを決めさせる。</p> <p>・代表児童3～5名程度に紹介させる。</p>															

	<p>やり取りの例</p> <p>T : What page do you like? Hint, please.</p> <p>S1 : 'Wash my face.' 'I'm sleepy.' <i>Futon</i>. Four cats.</p> <p>Ss : Page 35!</p> <p>S1 : That's right.</p> <p>T : Page 35. I see. Why do you like page 35?</p> <p>S1 : Four cats. Cute. A nice day.</p> <p>T : I see. You like cats. Me, too.</p> <p>Everyone, cats are cute?</p>	<p>・ペアで自分の好きなページを紹介し合う。</p> <p>・ペアになり，好きなページを紹介し合うよう伝える。個別支援をする。</p>	
5分	<p>・本時の活動を振り返り，振り返りカードに記入する。</p> <p>○歌 Goodbye Song（3年 Unit 2）</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。</p> <p>・児童と一緒に歌う。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>振り返りカード</p> <p>デジタル教材</p>

4年 Unit 9—Lesson 5 This is my day. ぼく・わたしの一日 5/5 時間
目 標 相手に配慮しながら、まとまりのある話を聞き、反応しようとする。
準 備 児童用テキスト、教師用カード（動作）、校内の先生方の写真等、デジタル教材、振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
5分	・挨拶をする。 ○チャンツ This is how I spend my day. (Hi, friends! Story Books 'Good Morning')	・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶をする。 ・児童と一緒に言う。児童の実態に応じて、すべてを言わせるのではなく、英語のリズムを楽しむ程度に扱ってもよい。	デジタル教材
5分	○お話を聞こう。 ・指導者の読み聞かせを聞きながら、絵本の台詞で言えるところは一緒に言う。	・前回同様、デジタル教材の大型絵本を使って読み聞かせをする。絵本の台詞で言えるところは、児童も一緒に言うよう促す。単元最後の時間であることから、児童は台詞の多くを言えるようになっていられると思われる。	デジタル教材 児童用テキスト
<p>読み聞かせの仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせでは、表情豊かにジェスチャーなどを付け、児童の理解の様子や反応に合わせて、一緒に台詞を読んだり、ページをめくるタイミングを工夫したり、途中で質問を交えたりするようにして、児童と一体感を感じながら読み聞かせを行う。何より、指導者自身が楽しく読むことを大切にしたい。 ・ALT等がいれば、指導者と役割分担し、説明文はALT等が、主人公の台詞は児童と指導者が読むなどしてもよい。また、デジタル教材の音声を聞かせてもよい。 			
25分	○Who am I? クイズ ・指導者の1日の生活を聞いて、質問に答える。	・指導者の1日の生活を紹介する。一方的に紹介するのではなく、児童に質問をし、やり取りをしながら紹介する。	教師用カード（動作）
<p>紹介の例</p> <p>What time is your 'Wake-up Time' / do you wake up? (At) 7:00? (At) 7:30? I wake up at 6:00. I'm very sleepy. I eat breakfast. Yummy. I walk my dog. My dog, Taro. It's cute. Do you have a pet / any pets? I play tennis. I like tennis very much. Do you like tennis? What sport do you like? I eat dinner at 6:30. I like <i>gyoza</i>. Do you like <i>gyoza</i>? I go to bed at 11:00. Good night.</p>			
・指導者の話を聞いて、各グループでそれがどの先生のことかを考え、発表する。		・次に、校内の先生方の休日の過ごし方について聞いておいたことを基に、Who am I? クイズをすることを告げる。児童がこれまでに授業を受けたり、よく知っていたりする先生方になりきり、絵カードを使いながら1日の生活を紹介する。 ・一方的に紹介するのではなく、児童に質問をしたりやり取りしたりしながら進めるようにする。 ◎相手に配慮しながら、まとまりのある話を聞き、反応している。〈行動観察・振り返りカード点検〉	校内の先生方の写真等
10分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 ・1年間の外国語活動でどのようなことを学んだかを誌面に記入し、交流する。 ○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2) ・挨拶をする。	・児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。 ・1年間を振り返って、4月の時よりも成長したところを認めて称賛する。次年度より5年生で外国語科の授業が始まるのが楽しみにできるような声かけをして、1年間の締めくくりをする。 ・児童と一緒に歌う。 ・挨拶をする。	振り返りカード 児童用テキスト デジタル教材